

市制30周年記念

はぎ



0

萩市立萩図書館

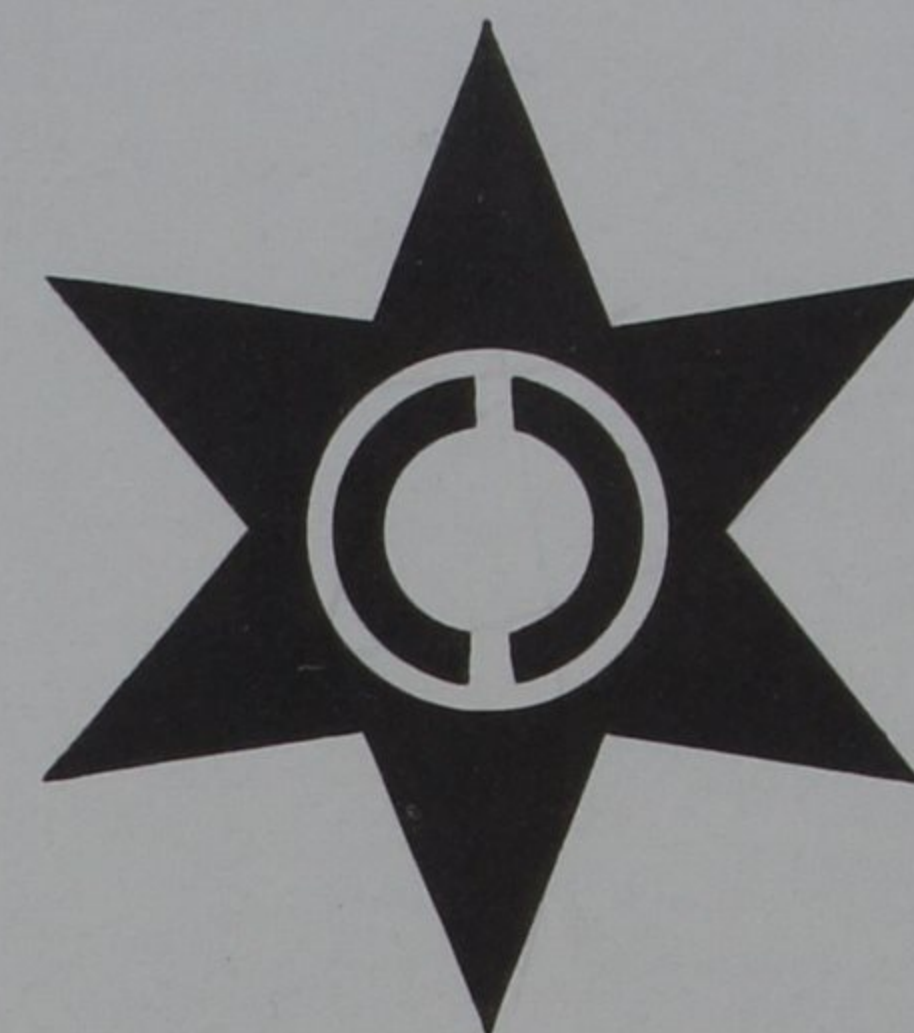


111521803

萩関係資料 30

1962

市 章



目 次

刊行のことば	8
名 誉 市 民	10
萩市のおいたち	12
自 然	16
人 口	19
市 政	20
産 業 経 済	26
観 光	40
教 育 文 化	52
ス ポ ー ツ	64
社 会 福 祉	65
保 健 衛 生	66
治 安	67
土 木 建 設	68
水 道	69
運 輸 通 信	70
市 民 生 活	72
付 録	76



萩 城 跡

毛利輝元の築城以来260年間、防長両国の中心地であった萩城の雄大さは、今日巨大な石垣の構造にしのみことができる。

緑の指月山、怒濤の日本海を背景に多くの維新指導者を輩出したこの城跡には、輝かしい維新史が秘められている。(国指定史跡)



東 光 寺

山号は護国山。萩藩主毛利吉就が元禄4年（1691）に創建した。大雄宝殿、総門、三門、大方丈、鐘楼等が現存し、全国的にも珍しい明末清初の中国風建築の姿を伝えている。境内には、毛利氏墓所、甲子殉難志士墓所があり、訪れる者の興味はつきない。

（市指定文化財）



大 照 院

東光寺と並んで毛利氏菩提寺になっている臨済宗寺院で毛利秀就をはじめ歴代藩主墓所になっている。国指定重要文化財赤童子像、県指定文化財釈迦像があり、境内大藤は市指定の天然記念物である。静寂な環境に潤いのある伽藍、庭園を持つ。



武 家 屋 敷

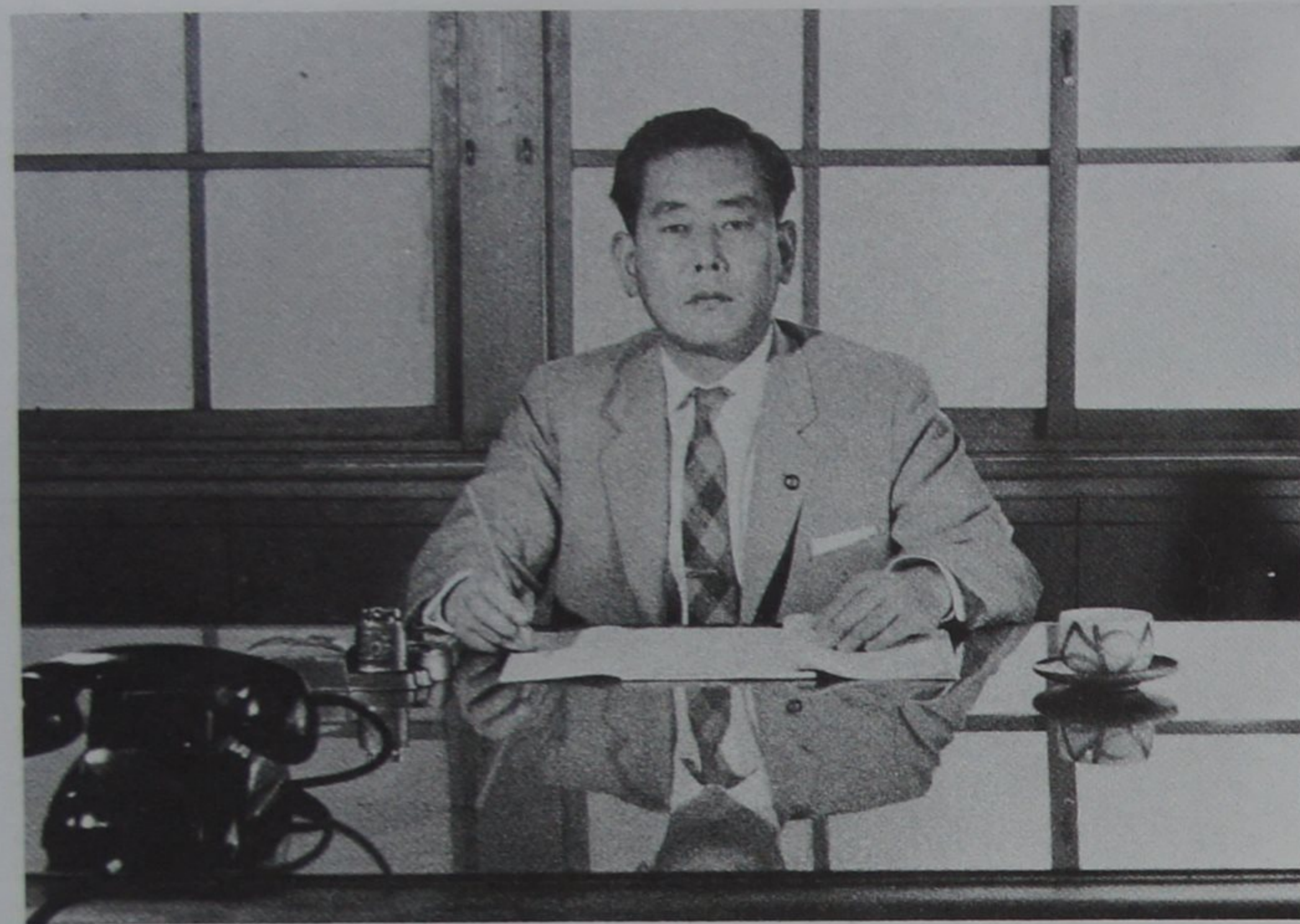
萩城三の丸であった堀内には家老、寄組などの重臣邸宅が多くあったが、維新後ほとんど壊滅して今日数軒の屋敷が残っている。

この写真は家老益田氏宅の門長屋で、比較的よく保存されている。豪壮な石垣の基礎と高い入母屋造りの屋根があり、大きい出窓がついていて家老の邸宅らしい格式を有している。



有 備 館

旧萩藩の藩費明倫館の建物の一部で、もとの名称は「他国修業者引請剣槍術場」といい、藩士練武のほかに他国から来る武術修業者の道場であった。現在明倫小学校内にあつて柔剣道練習場になっている。(国指定史跡)



萩市長 菊屋 嘉十郎

刊行のことば

萩市は慶長9年毛利輝元が萩城を築いてから、長門・周防二国の藩政の中心地として栄えて以来、幾多の変遷を経ながら城下街の名残りを留めて現在に至っております。

早くより藩学明倫館を創立して藩士の教育に意をそそいだ結果、後に吉田松陰を始め維新大業の礎をなした数多の志士を輩出しましたが、市内には往時を偲ぶにふさわしい名所旧蹟を数多く有して観光萩市の面目を施しております。

長門峡の清流が日本海に注ぐデルタ地帯であって、その風光明媚は北長門国定公園中のかなめといっても過言ではありません。

また多年の懸案であった対韓貿易を目標とした商港建設5カ年計画もその緒につき飛躍的第一歩を踏み出さんとしています。市政30周年を迎えるにあたり、市政の現況を正しく理解していただくために、眼で見た市勢要覧を発刊致しました。

この要覧が萩市をご理解下さる各位の参考資料ともなれば幸いと存じます。

萩市長 菊屋 嘉十郎



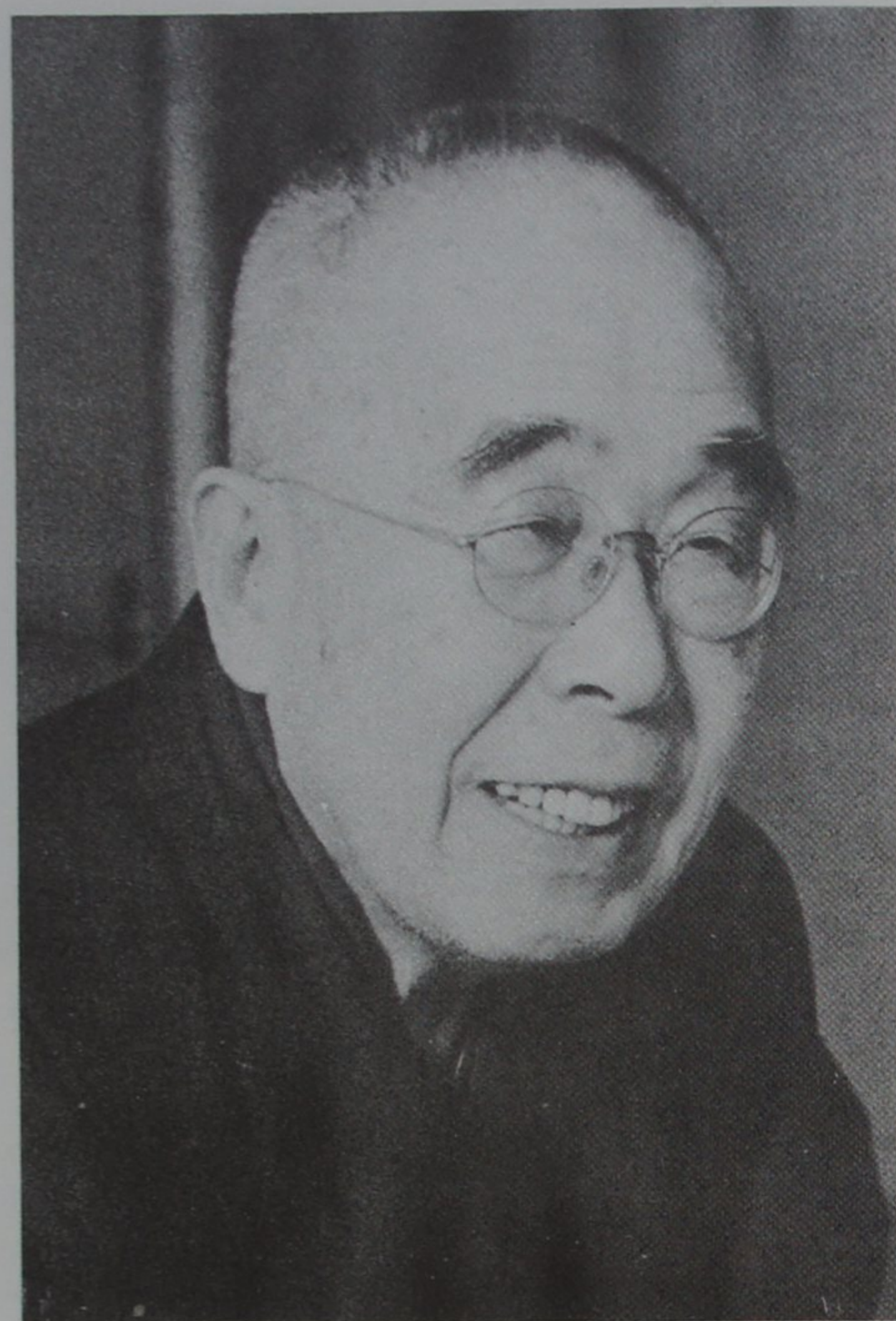
萩市議会議長 藤田 伝三郎



田床山から展望した萩市街

名誉市民

昭和36年5月8日、萩市名誉市民条例が制定され、本市の市民または縁故の深い者で本市の発展に寄与、広く社会の公共福祉の増進に貢献した人に、萩市表彰審査委員会の諮問を経、市議会の同意を得て、名誉市民の称号を贈り表彰することになった。



久原 房之助 氏
生年月日 明治2年6月4日
出生地 山口県阿武郡須佐町港
現住所 東京都港区芝白銀台町1丁目50番地

功績概要

氏は藤田庄三郎氏の三男として生まれ、慶応義塾大学卒業後、森村組に入り鉱山関係を担当し、その後独立して日立鉱山を創業、後久原鉱業と改称し、その間、日立製作所、久原商事、合同肥料等の各社をおこし社長に就任し、久原財閥の基礎を確立、1927年鮎川義介氏に実権を委任し政界へ転向し、後、通信大臣となる。

そのほか防長クラブ顧問を歴任、日中・日ソの国交回復のために奔走せられるなど現在なお健在である。一方双葉幼稚園の設立、萩高女の前身校への建設資金として多額な寄付をするほか、久原奨学金の制度をもうけ、郷土の子弟の育成に尽力される等、萩市に貢献されること多大で、市民の等しく敬愛するところである。



松林 篤 氏
生年月日 明治9年8月18日
出生地 萩市大字山田中渡(玉江二区)
現住所 東京都世田谷区深沢町4丁目122番地

功績概要

氏は玉江小学校(現白水小学校)卒業後70年に近い画業歴中優秀作として、国家に買上げられたもの、外国における日本画展に出品されたものなど多く、その他多数の名作をものする一方、文展の改革、日本美術協会の改組等画壇の発展に尽力しながら熱烈なる郷土愛をもって当市内の諸事業に多額の私財を投じ、また母校である白水小学校に対しても講堂建築費、老松の大額、富士の大横物などの作品を寄付して児童の精神を鼓舞するなど、その画業と篤行は萩市民のひとしく敬愛するところである。

画伯は今やわが国南画界は言うに及ばず、広く日本画壇の最長老として令名あまねき、その画業の傑出せる故により、去る昭和32年文化功労者に選ばれ、昭和33年には文化人最高の榮譽たる文化勲章を授与された。この市民の誇りたる画伯に敬愛と感謝の意を捧げるものである。

萩市の おいたち



宇津観音附近（見島）
地質時代（紀元前100万年頃）
沿岸海上に熔岩が噴出し、台地
状の島ができた。



砂洲に生えたオギ（松本川）
歴史時代（紀元前後）
阿武川河口に三角洲ができ始
めた。この洲ははじめ牛牧として開
かれ、牛牧の庄とよばれた。



弥生式土器（霧口出土）
弥生時代後期（2～3世紀頃）
阿武川や大井川の岸の台地に人
びとが住み始めた。



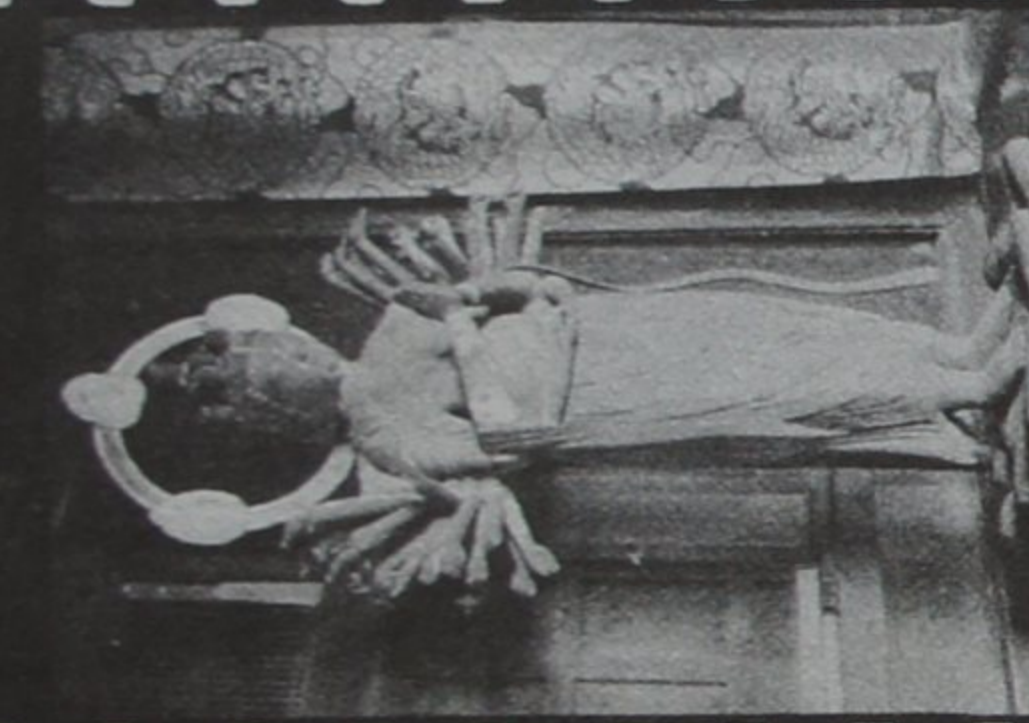
穴 観 音（大井）
古墳時代後期（6世紀頃）
大井は阿武の国造の居住地とし
て政治文化の中心地であった。



ジーコンボ（見島古墳）
古墳時代後期～奈良時代
見島は本土と大陸を結ぶ要地と
して発達した。



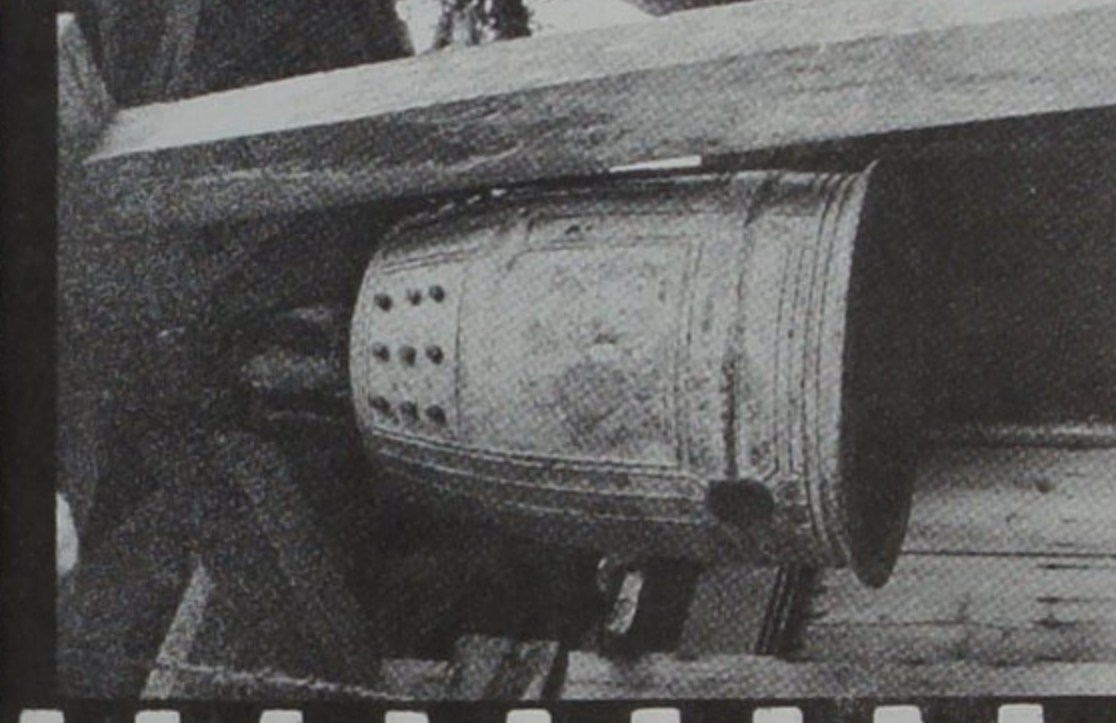
古 寺 の 瓦（中津江出土）
平安時代初期
仏教文化が地方に浸透し、寺が
大井や中津江にも建てられた。



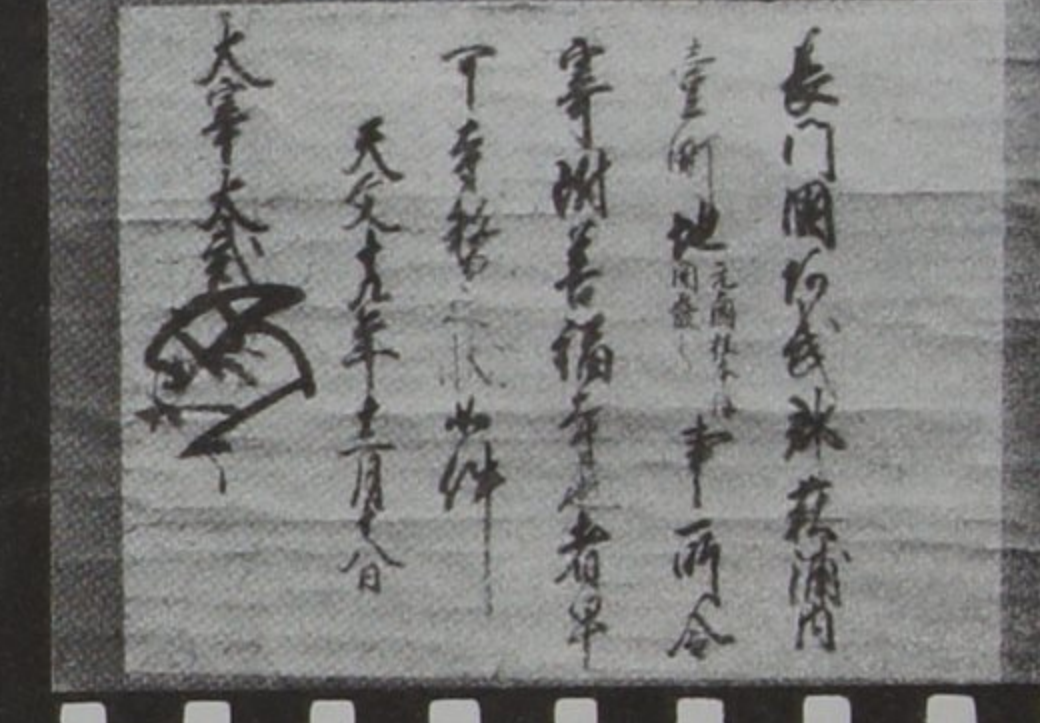
南明寺仏像（沖原）
平安時代後期
交通の要衝地として、椿郷は次
第に文化の中心地となり、南明
寺、観音寺が建立された。



元寇いかり石（大井）
鎌倉時代
この地方は外寇防禦の要地とな
った。



讃岐坊の洪鐘（見島）（1413年）
応永20年島僧山田雅楽弘貞が納
めた鐘で、この附近最古のもの。



大内義隆文書（川島善福寺所蔵）
（1541年）
大内氏は1357年から約200年、
長門、周防両国を支配した。この
文書にはじめて萩の地名がみえ
る。



吉見氏の墓（大井）（1588年）
大内氏滅亡ののち、毛利氏は萩
を吉見氏に与えた。



築城割石（指月山裏海岸）
（1604年）
防長二国に削封された毛利輝元
は江戸幕府の許可をえて、萩に居
城をかまえることになり、築城を
はじめ、4年後に完成した。



天守閣写真（村田氏所蔵）
（1608年）
萩城は慶長13年に完成した。



萩城下街割原標石（江向）
（1608年）
萩城下は三角洲上に沼や芦原を
さけて、武家屋敷、町屋敷をつく
ったが、街割の中心になったのは
この石である。



平 安 橋（平安古）
城下から三の丸の入口の惣門に
は番所がおかれ、門の前の外濠に
このような橋がかけられた。



慶安古図（萩市郷土博物館所蔵）
（1649年）
萩城下最古の地図。町並はこの
頃までにはほぼ出来上った。



堀内の屋敷址（堀内）
外濠よりうちは萩城三の丸とし
て重臣の居住地であった。



萩焼窯(中ノ倉)

毛利輝元は萩打入のとき、朝鮮の陶工を伴い、萩焼窯をひらかせた。



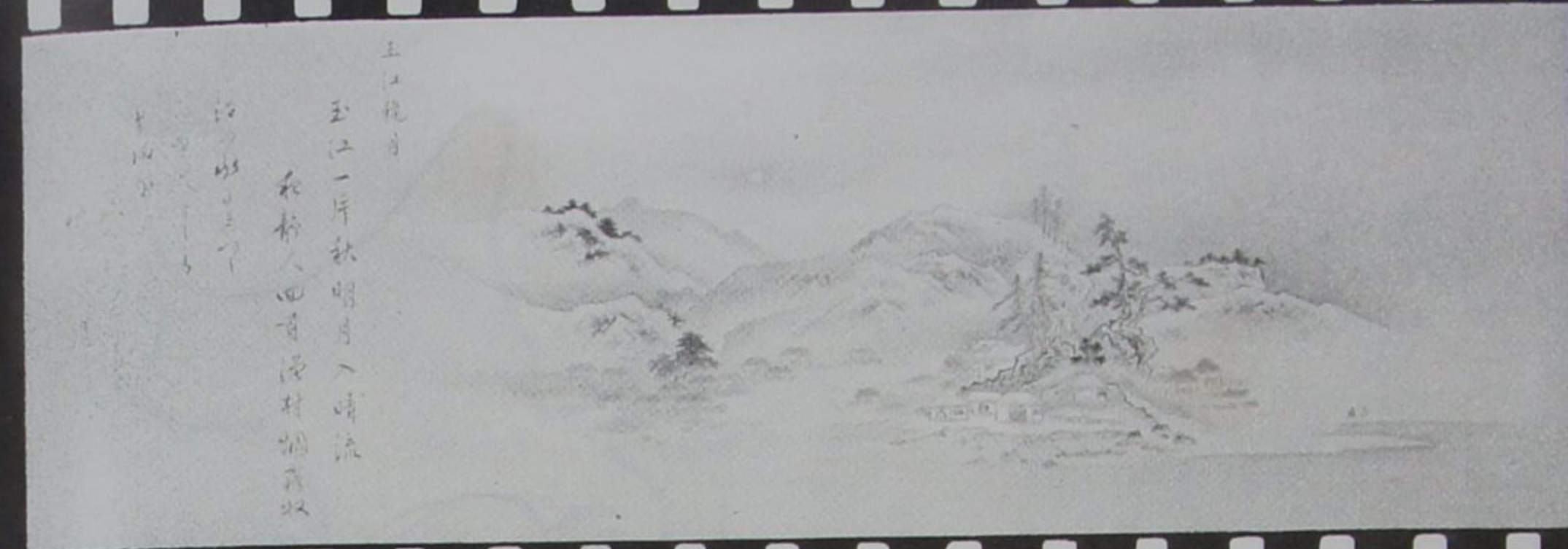
御船倉(浜崎) (1650年)

お船倉の敷地内に浜崎宰判がおかれ、萩附近の浦および島の民政を管かつた。農村部は当島宰判が当たった。



新堀川(浜崎附近)

治水や舟運の便をはかって水路の改修が行なわれた。



萩八景 雲谷等筆(毛利家所蔵)

(1685年)

このころ萩八景が制定された。



旧明倫館址(堀内) (1719年)

毛利藩の文教政策は明倫館を中心に始められた。



刑場址(中ノ倉) (1758年)

ここで藩医が医学研究のため罪人の死体解剖を行なったが、これは日本で2回目の人体解剖である。



藩政時代の商家(今魚店町) (1768年)

藩財政が苦しくなるにつれ、金融を司る御用商人が豪商が次第に台頭し始めた。



萩町人街(御許町)

同種の商工業者は団結して同一の町内に住んだ。



小畑茶碗屋(八江萩名所図絵より) (1839年)

藩財政建直しのため産業振興策がとられた。



橋本橋望火楼(村田氏所蔵)

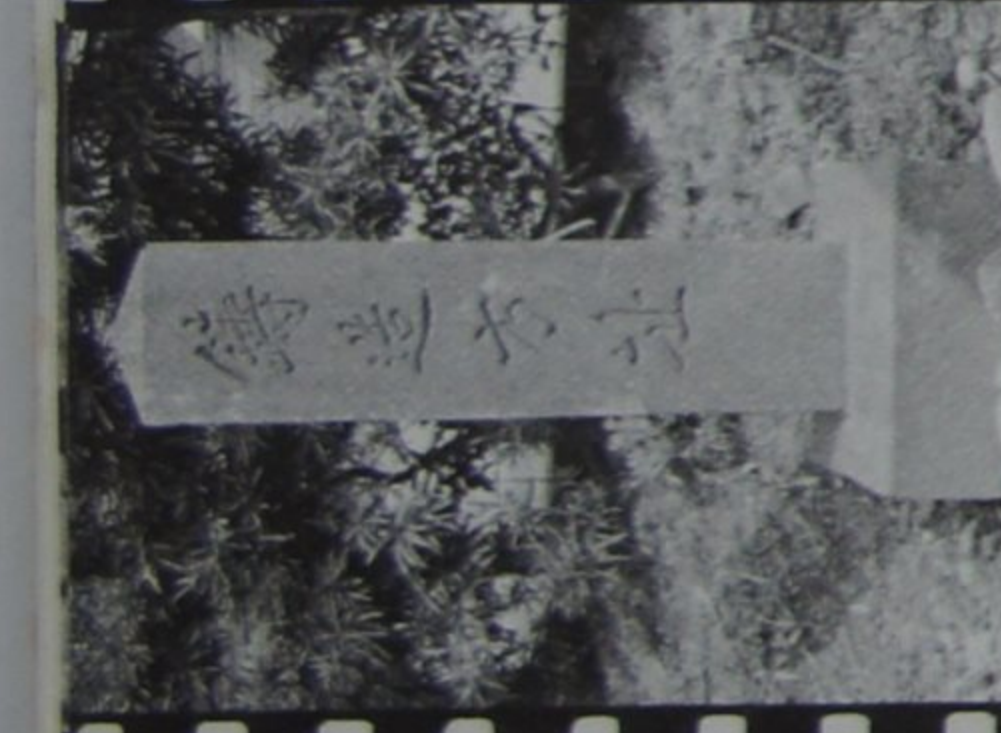
(1842年)

城下に入る橋のふもとに望火楼が設けられた。



姥倉運河(香川津) (1855年)

三角洲上の城下は治水対策に大きい努力がはらわれた。



鉄砲製造所址(沖原) (1857年)

幕末になり長州藩は軍備の充実に全力を傾け二度の長州征伐を戦った。



女台場(菊ヶ浜御台場) (1863年)

黒船の驚異は老若男女を防禦陣地造りにかりたてた。



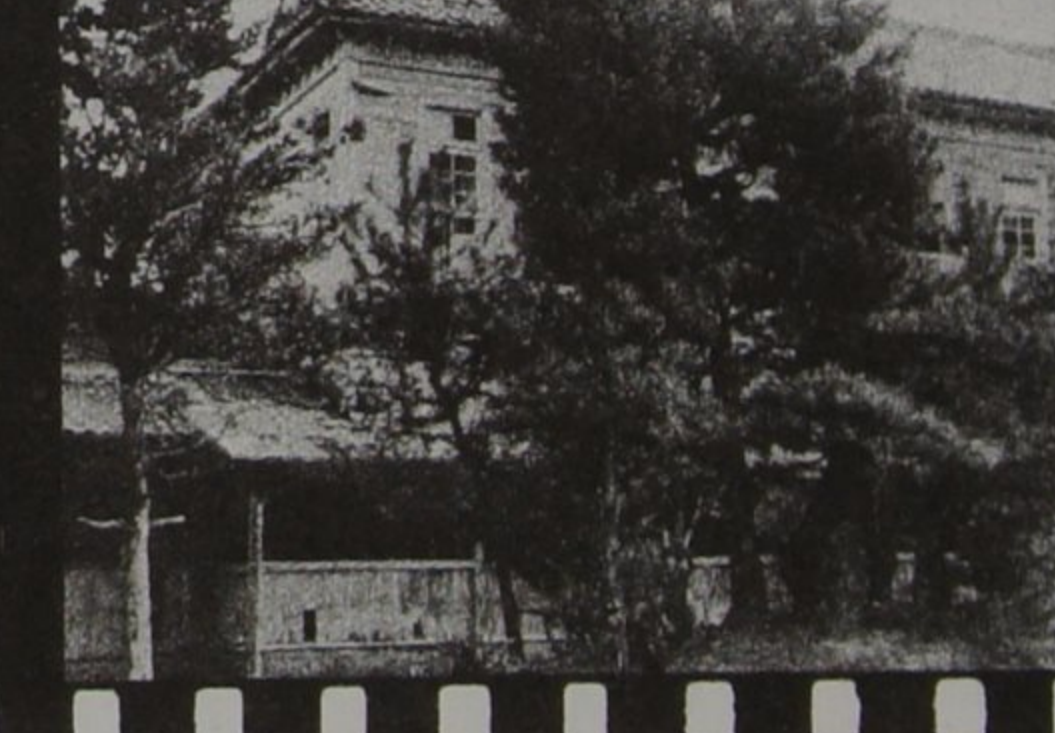
橙園之記(河添) (1877年)

藩籍奉還のち失職した士族に夏みかん栽培をすすめた。



門長屋(堀内)

藩政時代の重臣は殆んど萩を去り、その邸宅はつぎつぎと取壊された。



県立萩中学校(堀内) (1899年)

着々と近代都市としての形体を整えはじめた。



市村合併(萩市報) (1955年)

人口5万7千の都市となった。

萩市の位置

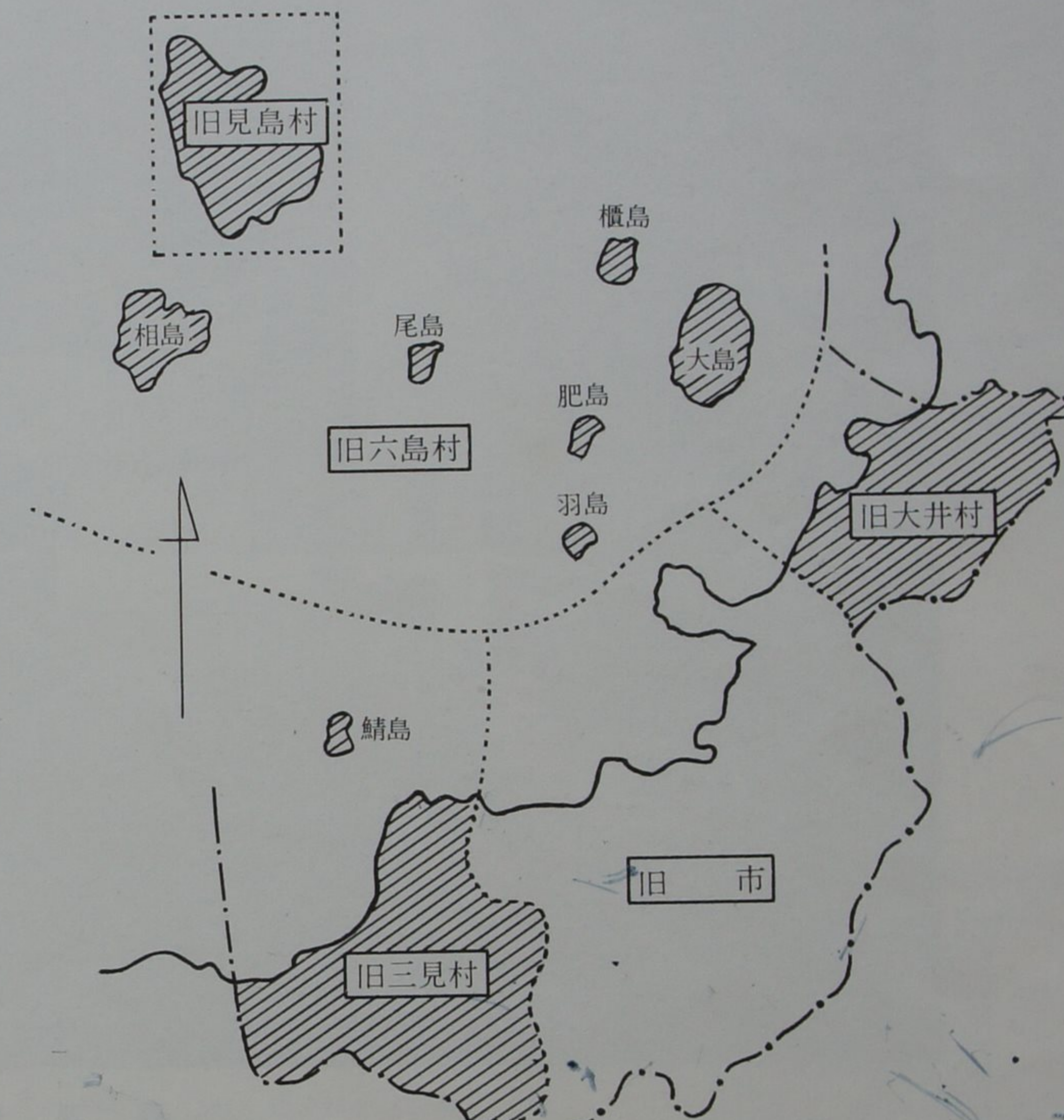


萩市
面積 138.0km²
世帯 13,250
人口 56,831

昭和35年10月1日現在



種 類		面 積
		アール
総	数	686,752
田		111,265
畑		121,704
宅	地	29,339
池	沼	70
山	林	418,650
原	牧	573
雑	種 地	5,151



人 口 昭和35年国調

区 分	世 帯 数	人 口
旧 萩 市	10,718	43,436
旧 三 見 村	690	3,519
旧 大 井 村	833	4,182
大島外五島	471	2,730
見 島	538	2,964
合 計	13,250	56,831

昭和30年3月1日
編入合併

気 象



萩 測 候 所

気 象 の 概 況

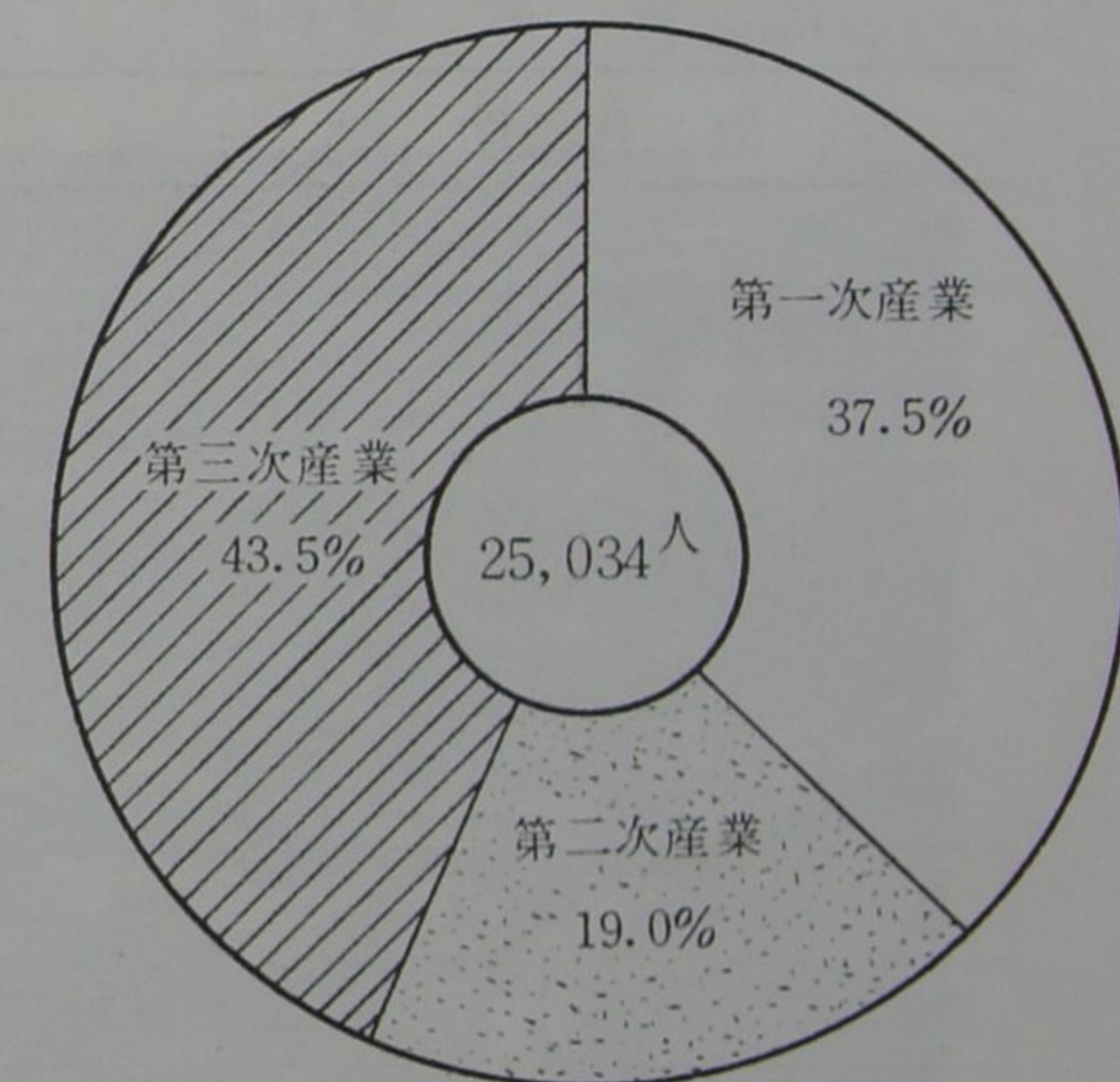
月 別	平均気温 °C	降水量 (計) mm	風			天 気 日 数		
			平均風速 m/s	最大風速 m/s	風 向 16方位	快 晴	曇 天	雨 天
昭和36年	15.8	1593.8	4.2	26.2		55	178	183
1 月	3.4	53.2	5.6	19.3	北	1	23	13
2 月	4.8	47.3	5.0	18.3	北々東	5	15	14
3 月	9.0	84.8	3.8	16.0	北	5	16	17
4 月	13.5	123.0	4.5	15.8	南	11	13	11
5 月	17.8	145.6	3.7	16.7	南々東	4	15	16
6 月	21.3	41.7	3.5	13.3	〃	1	22	16
7 月	27.3	142.7	3.9	12.5	南	5	15	14
8 月	27.8	306.4	3.5	14.3	南々東	5	9	17
9 月	24.5	252.3	3.5	26.2	北	8	8	17
10 月	18.5	211.9	3.9	21.7	北	6	15	15
11 月	13.1	48.8	4.1	14.8	北々西	2	12	13
12 月	7.9	136.1	4.9	16.7	北	2	15	20



人 口 の 推 移

年 次	世帯数	人 口			備 考
		総 数	男	女	
大正9年	6,985	29,922	14,662	15,260	国勢調査
〃 14	7,096	33,225	16,359	16,866	〃
昭和5	6,999	32,106	15,566	16,540	〃
〃 10	7,090	32,587	15,705	16,882	〃
〃 15	7,125	32,270	15,586	16,684	〃
〃 19	7,391	30,960	13,697	17,263	臨時人口調査
〃 20	8,447	38,388	17,293	21,095	人口調査
〃 21	9,174	39,704	17,949	21,755	人口調査
〃 22	10,141	41,579	19,228	22,351	臨時国勢調査
〃 23	10,036	41,761	19,510	22,251	常住人口調査
〃 25	9,604	41,613	19,644	21,969	国勢調査
〃 30	12,374	57,621	27,657	29,964	〃
〃 35	13,250	56,831	26,942	29,889	〃

産 業 別 就 業 者 数



昭和35年国調

市 政



助役 坂井忠夫 市長 菊屋嘉十郎 収入役 大下伸

(1) 歴代市長

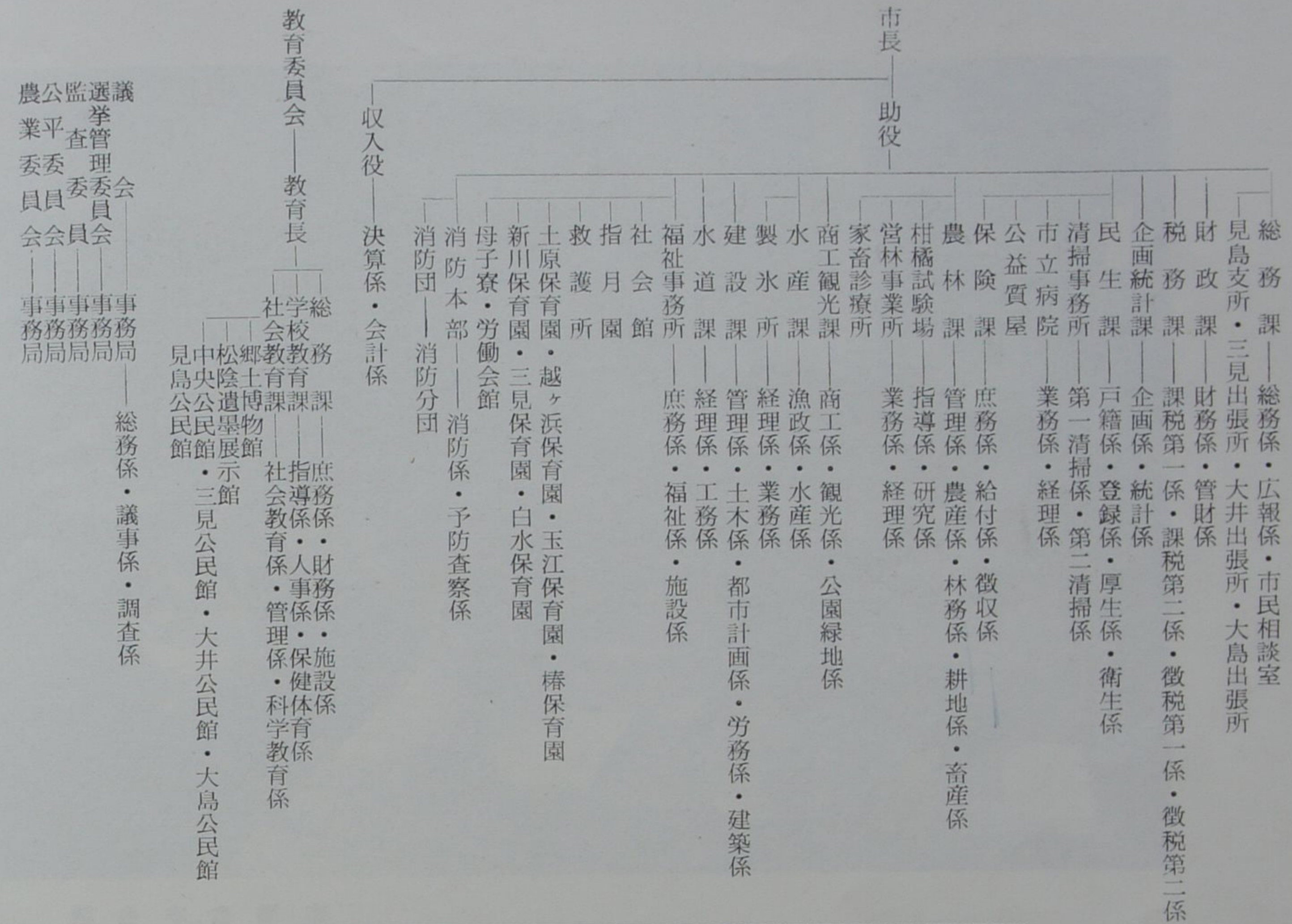
歴 順	氏 名	就任年月	退職年月	在 職 期 間
初	代 田 勝 藏	昭和7年8月	昭和11年2月	3年6ヶ月
二	代 市 田 一	" 11年3月	" 12年6月	1年3ヶ月
三	代 古 屋 武	" 12年7月	" 16年7月	4年
四	代 藤 光 包	" 16年7月	" 17年12月	1年5ヶ月 (在職中死亡)
五	代 安 正 誠	" 18年3月	" 20年1月	1年10ヶ月
六	代 山 正 誠	" 20年3月	" 21年11月	1年8ヶ月
七	代 山 正 誠	" 22年4月	" 26年4月	4年
八	代 山 正 誠	" 26年4月	" 30年4月	4年
九	代 山 正 誠	" 30年5月	" 34年4月	4年
十	代 山 正 誠	" 34年5月	現在に至る	

(2) 歴代助役

歴 順	氏 名	就任年月	退職年月	在 職 期 間
初	代 市 川 一 郎	昭和7年8月	昭和11年3月	3年7ヶ月
初	代 羽 向 仁	" 9年1月	" 11年2月	2年1ヶ月
二	代 松 光 一	" 11年9月	" 15年9月	4年
三	代 松 光 一	" 15年12月	" 18年7月	2年7ヶ月
四	代 松 光 一	" 18年10月	" 20年3月	1年5ヶ月
五	代 松 光 一	" 20年8月	" 22年4月	1年8ヶ月
六	代 松 光 一	" 22年6月	" 26年6月	4年
七	代 松 光 一	" 26年6月	" 27年12月	1年6ヶ月
八	代 松 光 一	" 27年12月	" 30年6月	2年6ヶ月
九	代 松 光 一	" 30年7月	" 34年6月	4年
十	代 松 光 一	" 34年6月	現在に至る	

(3) 歴代収入役

歴 順	氏 名	就任年月	退職年月	在 職 期 間
初	代 岡 小 市	昭和7年8月	昭和11年8月	4年
二	代 岡 小 市	" 11年8月	" 15年5月	3年
三	代 岡 小 市	" 15年5月	" 19年5月	4年
四	代 岡 小 市	" 19年5月	" 23年5月	4年
五	代 岡 小 市	" 23年5月	" 27年5月	4年
六	代 岡 小 市	" 27年5月	" 27年11月	6ヶ月
七	代 岡 小 市	" 27年12月	" 31年12月	4年
八	代 岡 小 市	" 31年12月	" 35年12月	4年
九	代 岡 小 市	" 35年12月	現在に至る	



職 員

総 数	吏 員		雇 員	備 人	臨 時	嘱 託
	事 務	技 術				
571	178	50	126	96	117	4

昭和37年5月1日



庁 内 風 景

議 会



市 議 会 本 会 議

歴 代 議 長

歴 順	氏 名	就 任 年 月	退 職 年 月
初代	土 井 市之進	昭和7年7月	昭和11年7月
2代	大 田 民 藏	昭和11年7月	昭和15年7月
3代	大 田 民 藏	昭和15年7月	昭和17年7月
4代	佐 伯 宇 槌	昭和17年7月	昭和19年7月
5代	林 良 雄	昭和19年7月	昭和22年1月
6代	吉 賀 要 作	昭和22年1月	昭和22年4月
7代	吉 賀 要 作	昭和22年6月	昭和26年4月
8代	吉 賀 要 作	昭和26年5月	昭和30年4月
9代	村 田 正 雄	昭和30年5月	昭和31年5月
10代	谷 口 保 雄	昭和31年5月	昭和32年12月
11代	石 橋 栄 藏	昭和32年12月	昭和34年4月
12代	吉 賀 要 作	昭和34年5月	昭和36年6月
13代	藤 田 伝三郎	昭和36年6月	現在に至る

歴 代 副 議 長

歴 順	氏 名	就 任 年 月	退 職 年 月
初代	佐 伯 宇 槌	昭和7年7月	昭和11年7月
2代	世 良 捨 松	昭和11年7月	昭和15年7月
3代	村 木 五 一 郎	昭和15年7月	昭和17年7月
4代	来 島 谷 藏	昭和17年7月	昭和19年7月
5代	藤 田 栄 吉	昭和19年7月	昭和22年1月
6代	中 島 恒 一	昭和22年1月	昭和22年6月
7代	吉 賀 幸 助	昭和22年6月	昭和23年9月
8代	中 島 恒 一	昭和23年9月	昭和26年4月
9代	来 島 市 槌	昭和26年5月	昭和27年4月
10代	谷 口 保 雄	昭和27年4月	昭和30年4月
11代	中 島 恒 一	昭和30年5月	昭和30年6月
12代	藤 田 伝三郎	昭和30年6月	昭和31年5月
13代	加 藤 亀 松	昭和31年5月	昭和32年7月
14代	綱 屋 鶴 松	昭和32年7月	昭和34年4月
15代	来 島 市 槌	昭和34年5月	昭和36年6月
16代	上 村 伝 吉	昭和36年6月	現在に至る

広 報



市民との結びつきをはかる市報

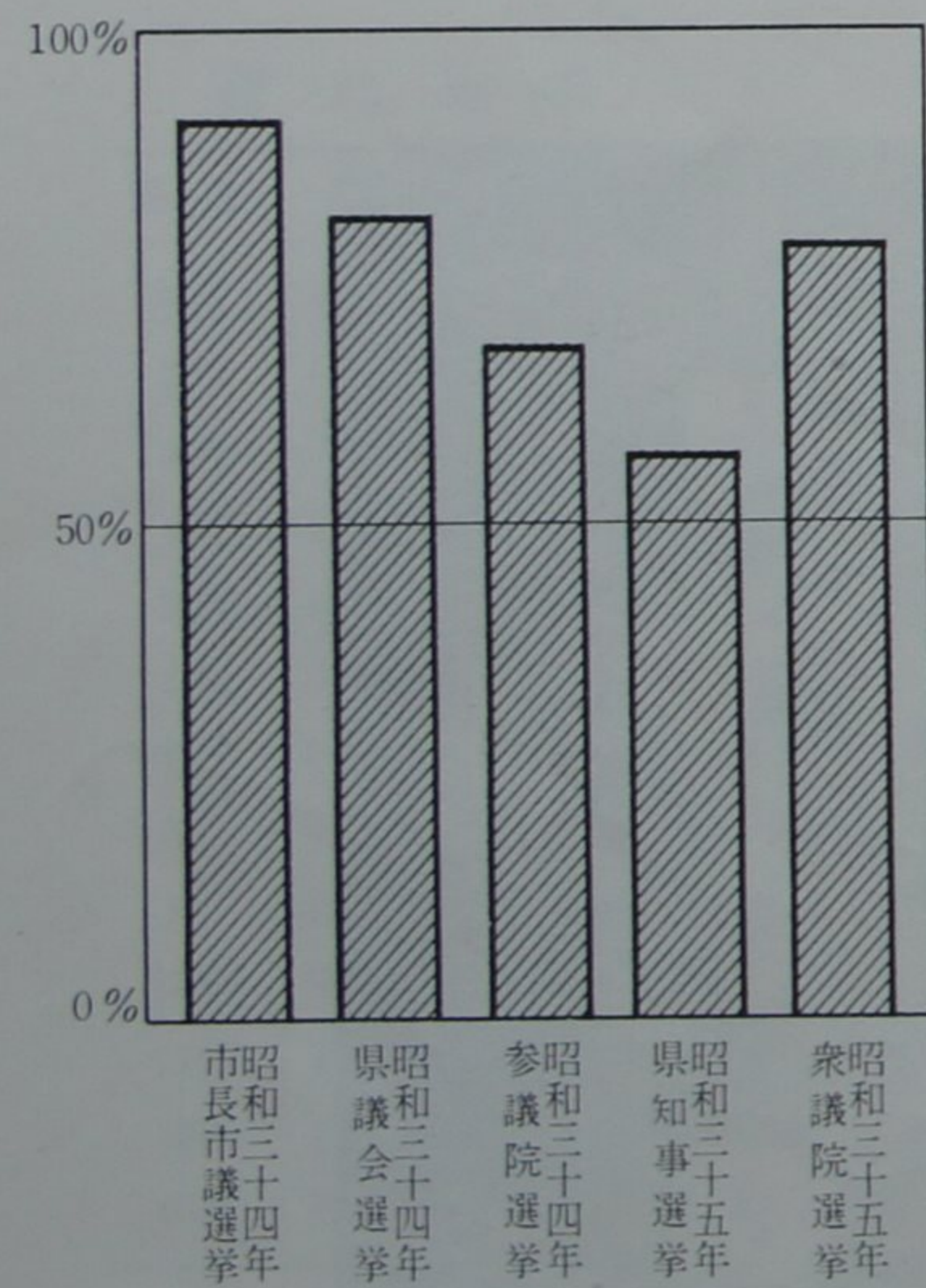


市 政 懇 談 会

選挙



選挙投票率



有権者数

(昭和36年9月15日現在)

地区別	男	女	計
旧萩	5,846	7,776	13,622
棒東	3,362	4,032	7,394
棒	743	939	1,682
山田	1,412	1,598	3,010
三見	980	1,149	2,129
大井	1,160	1,313	2,473
大島	504	541	1,045
相島	218	230	448
見島	872	772	1,644
計	15,097	18,350	33,447

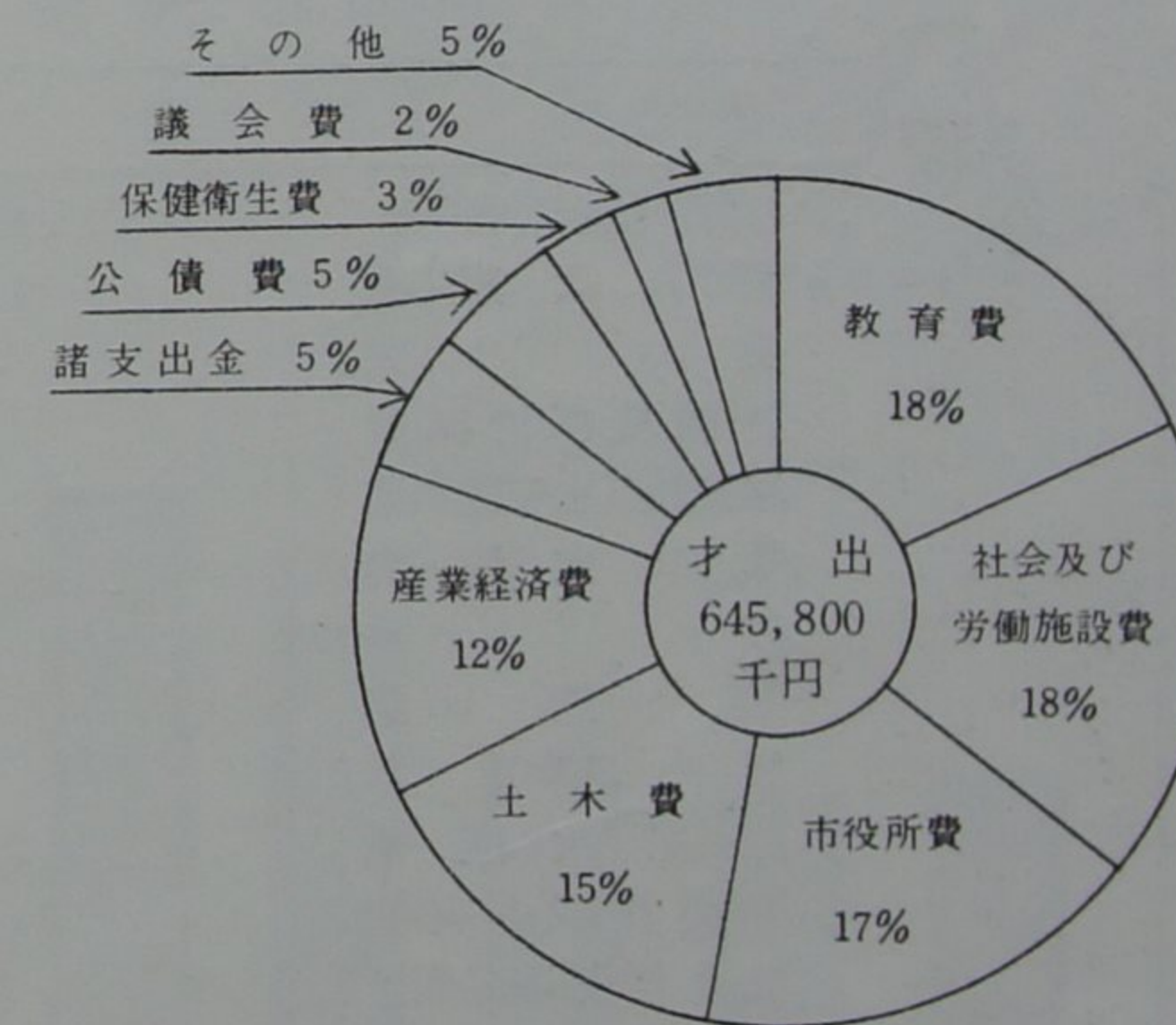
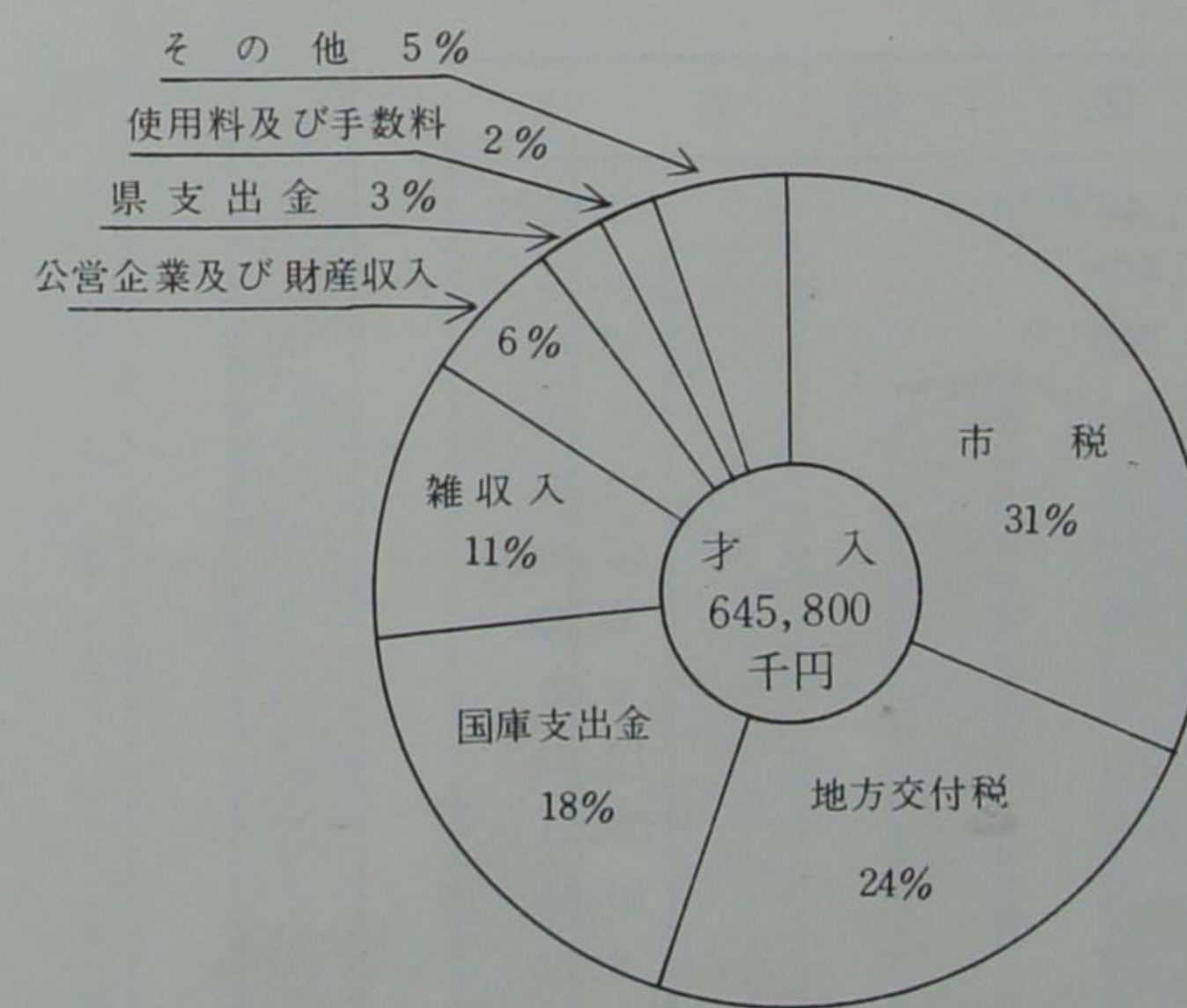
財政

一般会計 歳入歳出予算 (昭和37年度)

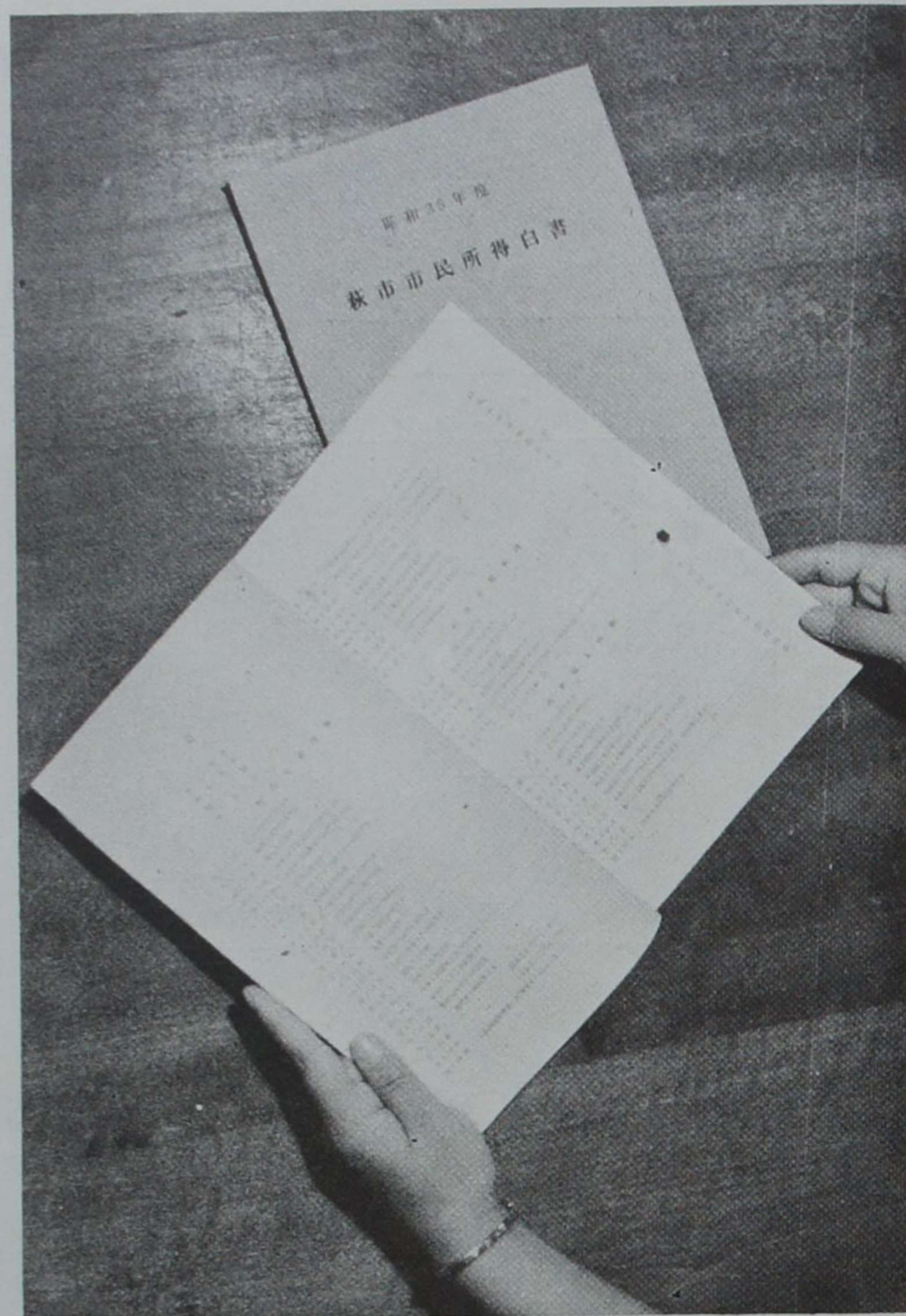
歳入		歳出	
科目	当初予算額	科目	当初予算額
市地地方公営企業分使国県寄線雑市	200,890,000円	議市消土教社保産財統選公諸予	13,787,200円
税	10,000	会費	111,824,600
与付	152,000,000	役所	13,499,500
譲交及	37,490,300	防木育	97,539,000
及	6,460,000	会及	117,654,200
財産収入	14,702,700	労働施設	113,615,000
金	117,956,000	会及	17,937,900
金	16,683,600	保健衛生	80,285,600
金	9,685,000	費	9,706,000
金	5,490,000	費	310,500
金	7,000,000	費	3,653,700
金	72,432,400	費	31,510,732
入金	5,000,000	費	33,478,220
債		費	997,848
		金	
		費	
		計	645,800,000
合 計	645,800,000	合 計	645,800,000

特別会計 歳入歳出予算 (昭和37年度)

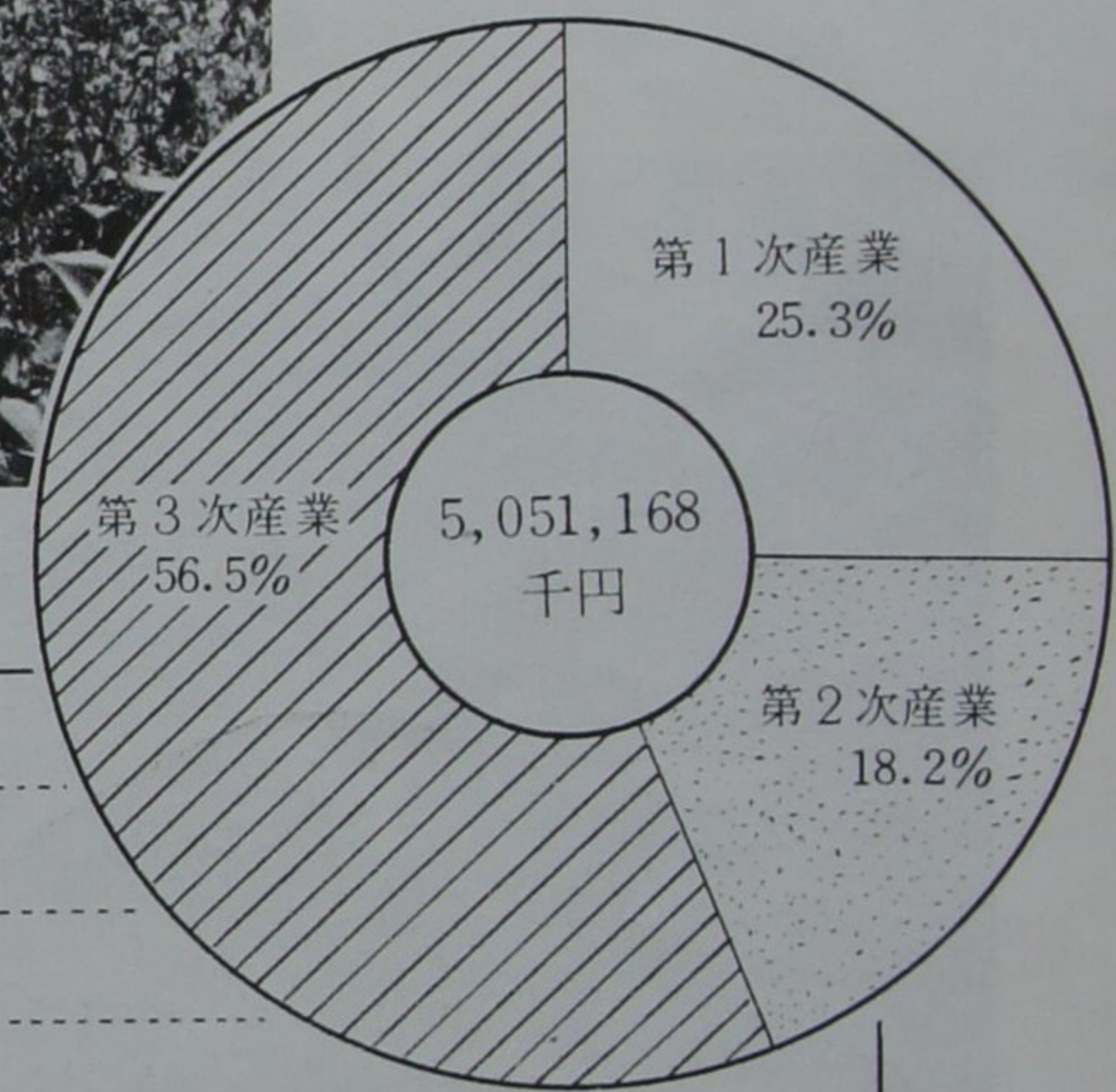
種別	歳入	歳出
	当初予算額	当初予算額
各種基金及び積立金	1,807,923円	1,807,923円
屠畜場費	1,440,000	1,440,000
萩市製水所費	14,026,000	14,026,000
公益質屋費	5,396,000	5,396,000
萩市立病院費	42,580,000	42,580,000
国民健康保険事業費	72,662,000	72,662,000



産業経済



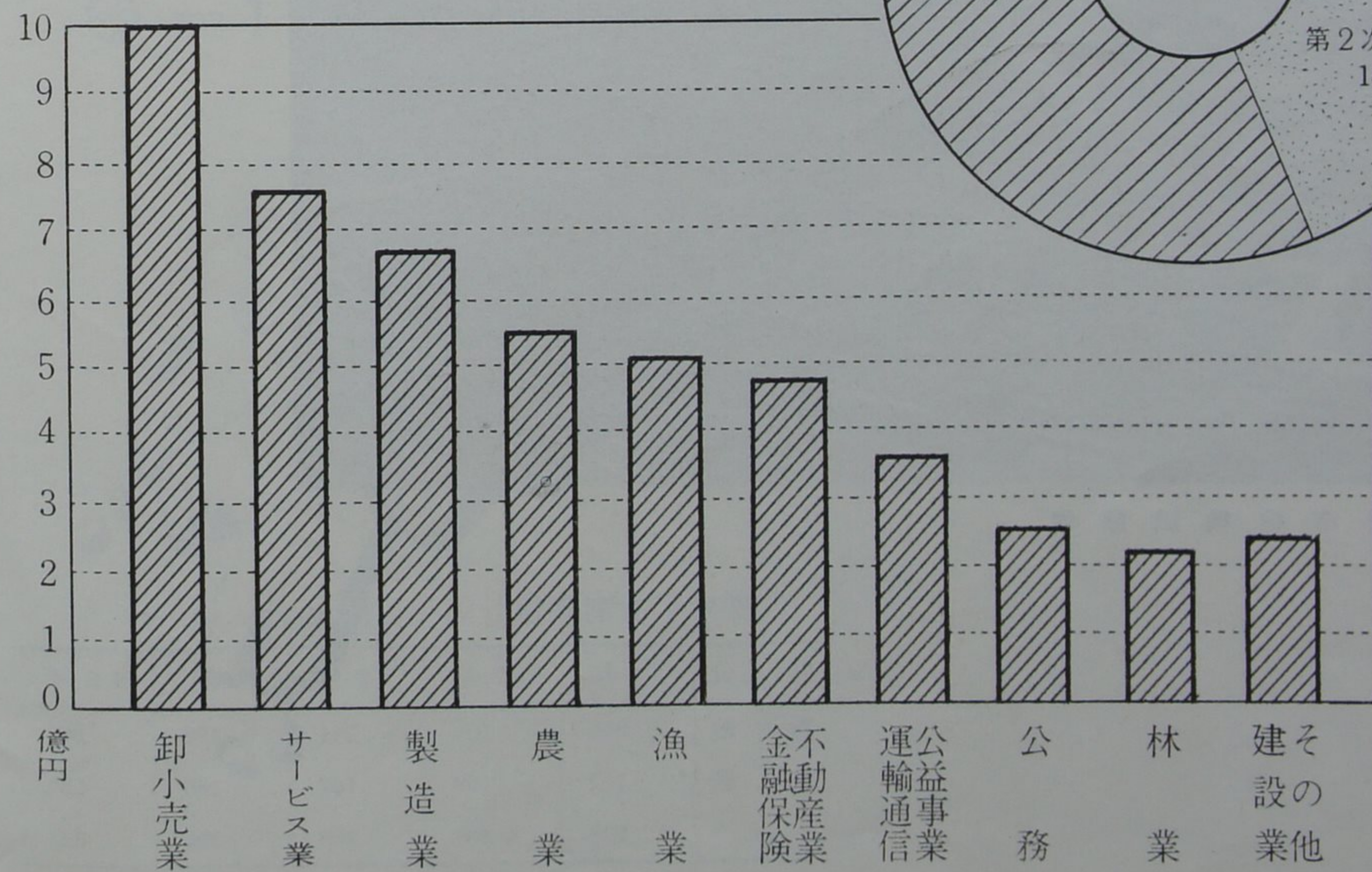
産業構造



昭和35年度 市内生産所得

区分	実額	構成比
市内生産所得総数	5,051,168千円	100.00%
第一次産業	1,279,659	25.33
農業	555,343	10.99
林業及び狩猟業	218,143	4.32
漁業及び水産養殖業	506,173	10.02
第二次産業	917,450	18.16
鉱業	27,925	0.55
建設業	205,994	4.08
製造業	683,531	13.53
第三次産業	2,854,059	56.51
卸売及び小売業	1,001,634	19.83
金融・保険・不動産業	475,562	9.42
運輸・通信・公益事業	366,194	7.25
サービス業	760,971	15.06
公務	249,698	4.95

新植園

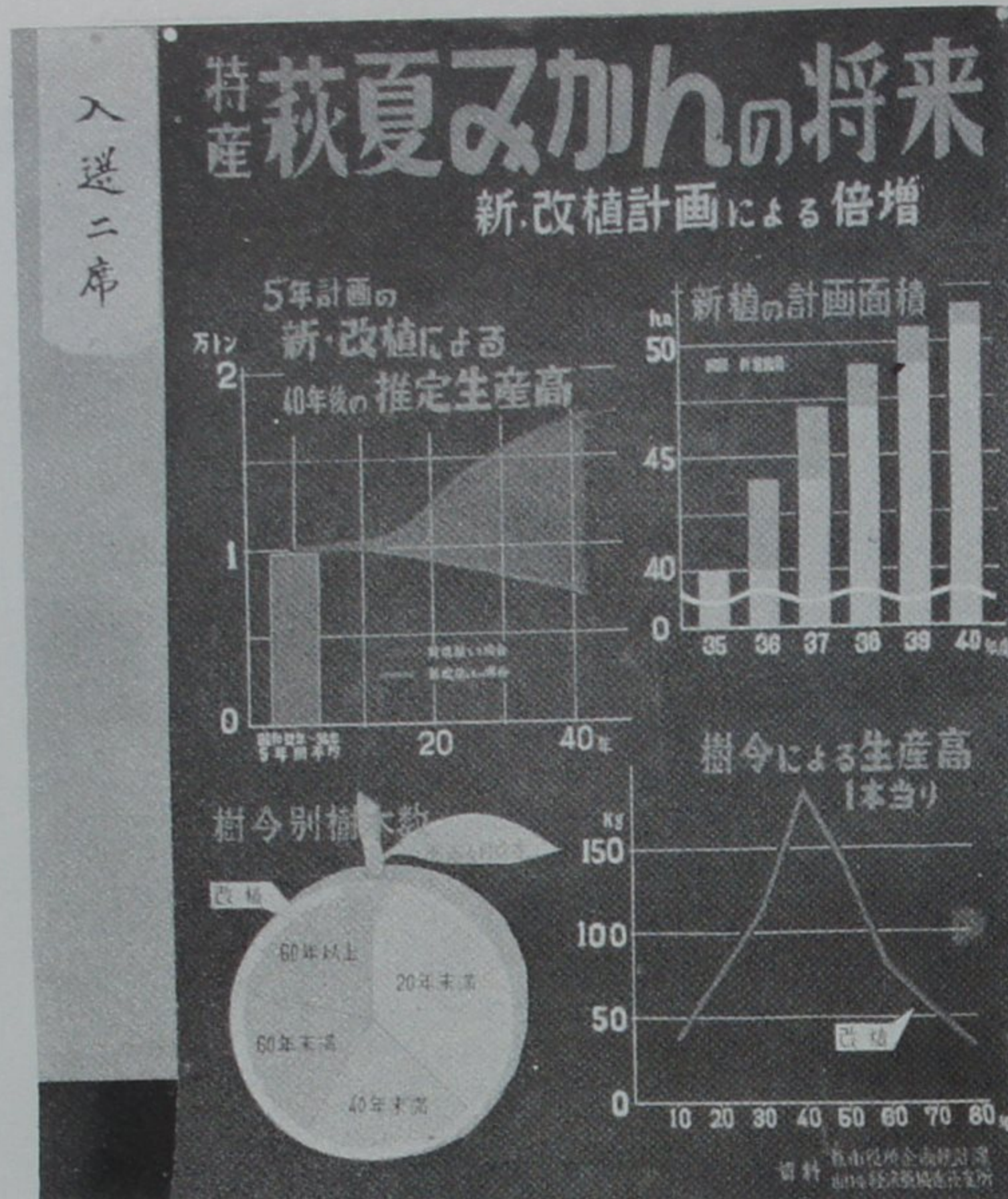


農 業

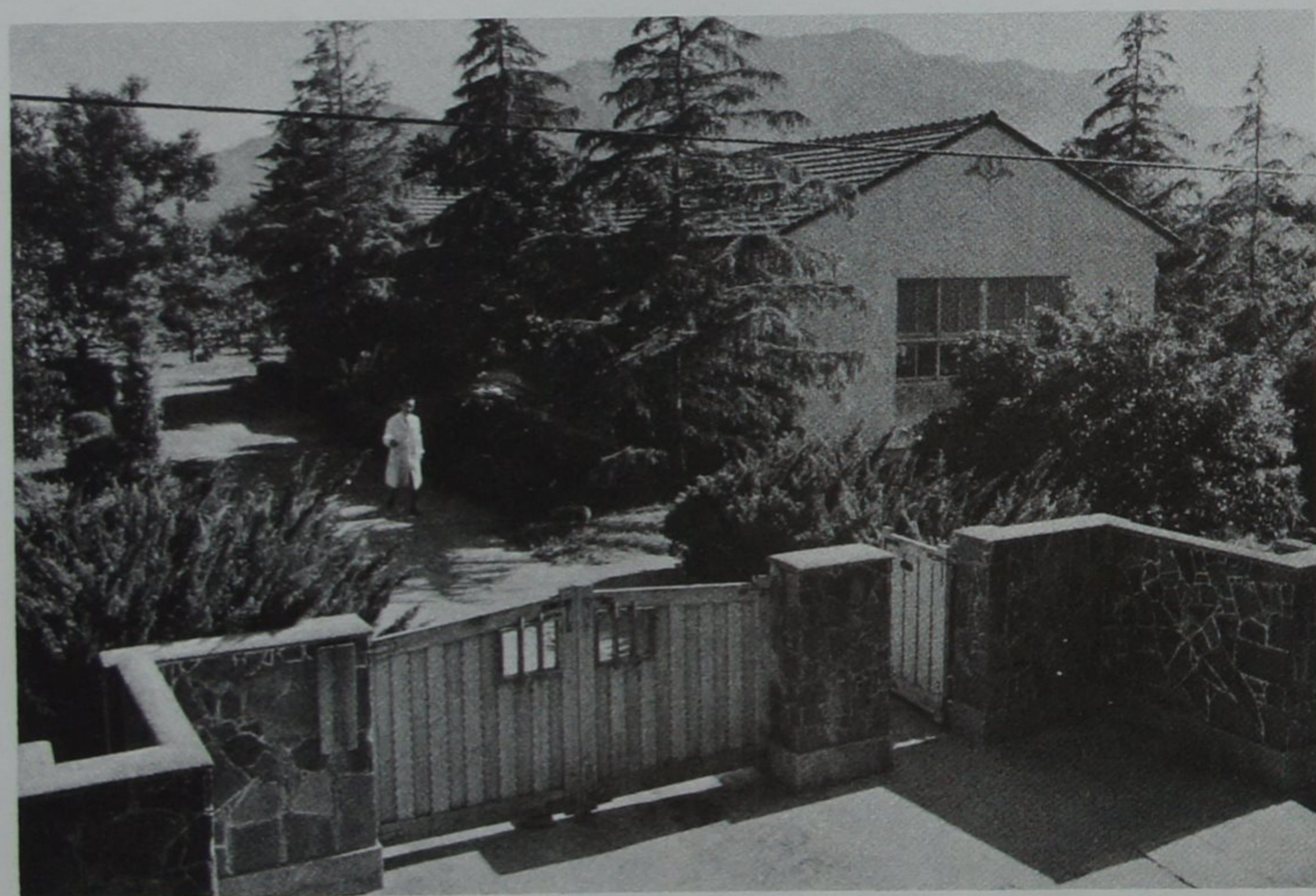
夏柑生産農家数と経営園面積

区 分	戸 数	面 積
総 数	2,096	10アール 4,577
10アール未満	663	349
10～30アール	911	1,518
30～50アール	298	10,95
50～100アール	185	1,167
100アール以上	39	448

昭和35年2月1日現在



第9回統計図表全国コンクール(中学校の部) 入選作品



萩市柑橘試験場

夏柑年次別栽植計画 (単位10アール)

区 分	36年	37年	38年	39年	40年
新 植	356	301	241	198	167
改 植	152	158	167	160	155
計	508	459	408	358	322

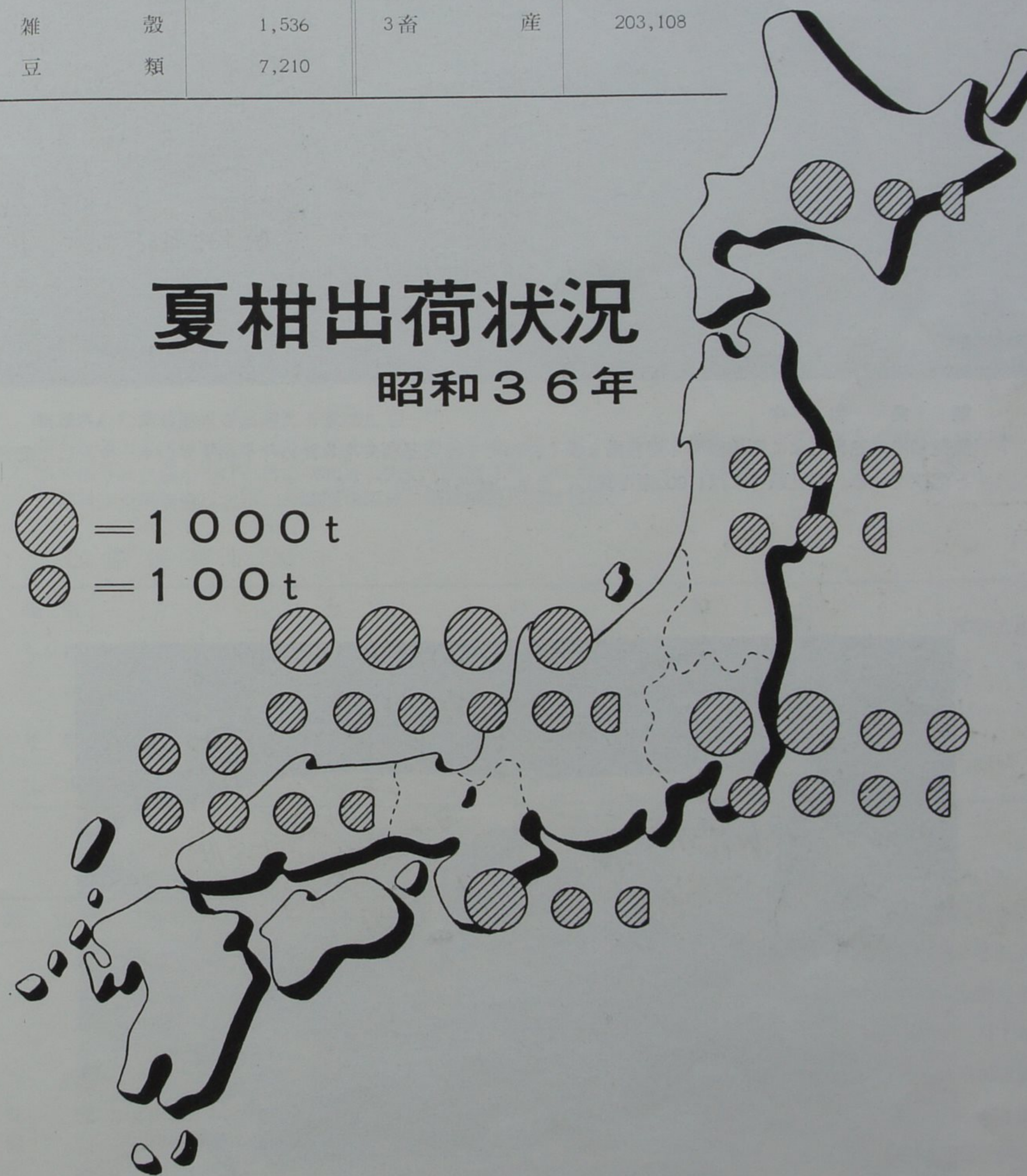
昭和35年度農業生産額

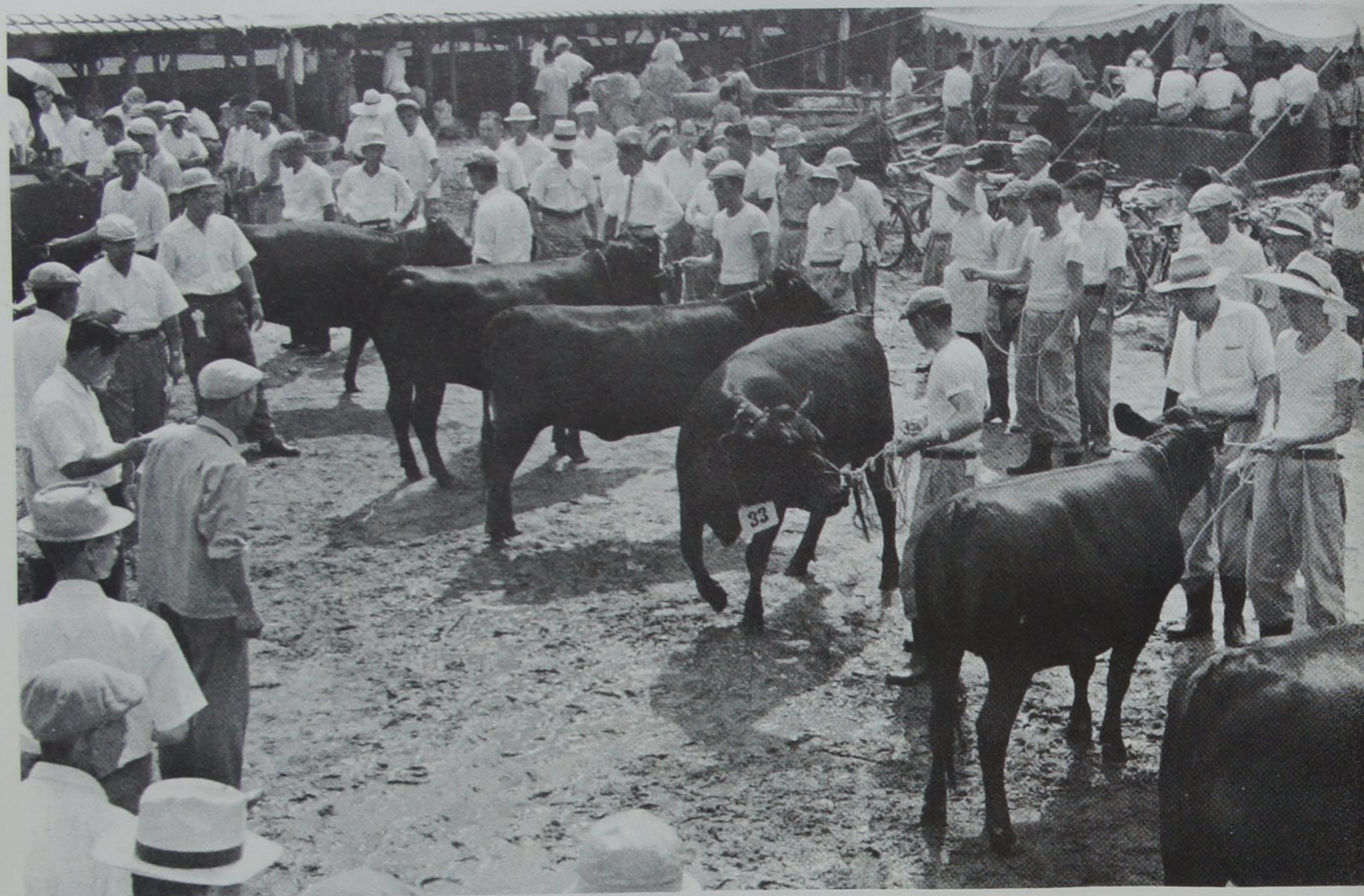
区 分	生 産 額	区 分	生 産 額
総 額	956,818	野 菜 類	101,809
1 耕 種	750,454	果 実 類	246,046
米	248,359	工 芸 作 物	64,873
麦	47,620	肥 飼 料 用 作 物	4,067
い も 類	28,934	2 養 蚕	3,256
雑 穀	1,536	3 畜 産	203,108
豆 類	7,210		

夏柑出荷状況

昭和36年

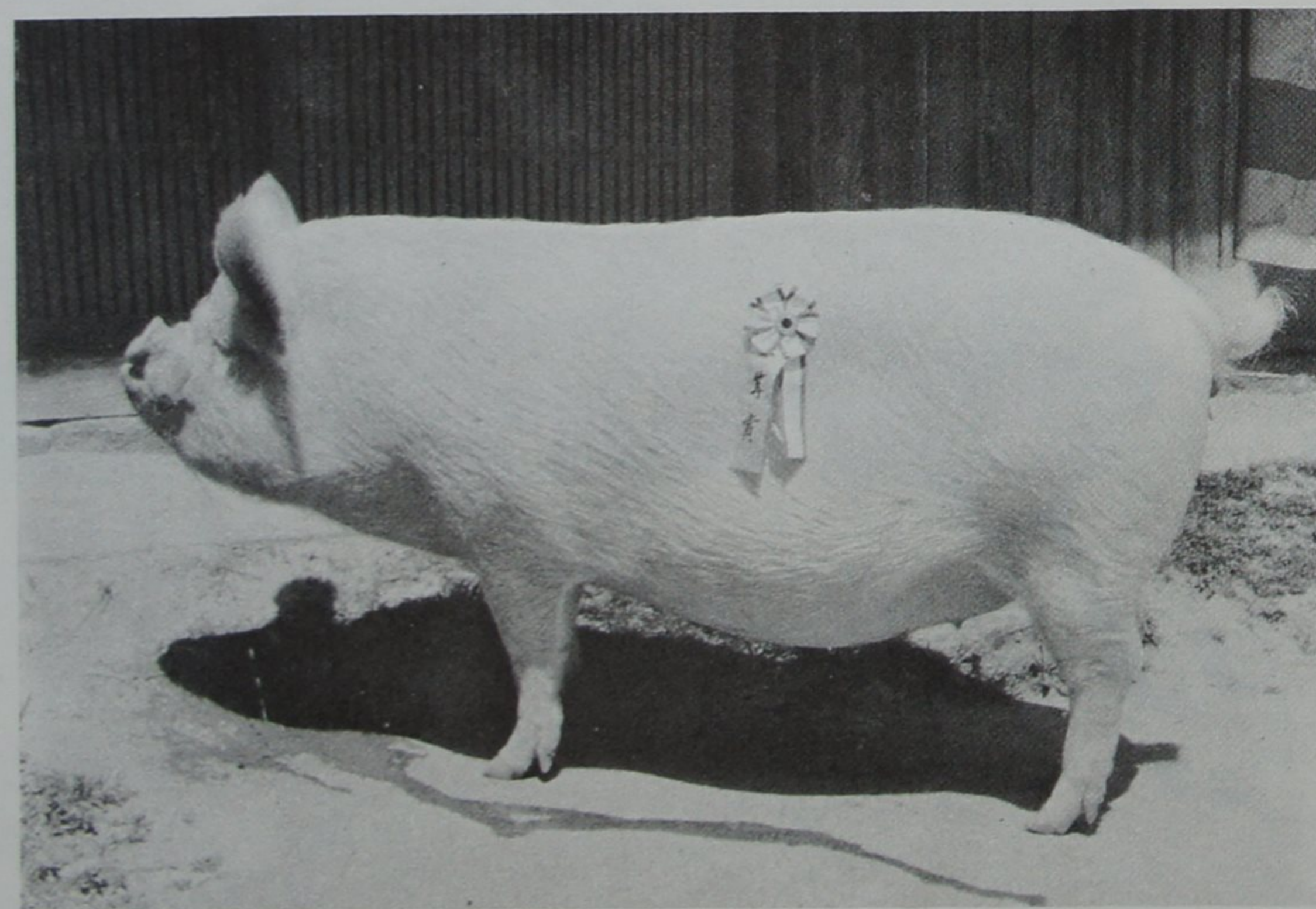
● = 1000t
● = 100t





無角和牛

無角和牛は発育と共に肥満が早く泌乳量も多く、加えて性質温順であるため今や和牛界のホープとして脚光を浴びている。現在秋市には1,000頭を算し、全体の60%を占めている。



第4回全日本豚共進会上位入賞したキョクショウボールヤマネ

漁業



釈放された抑留船員を出迎える家族たち

昭和27年1月19日設定された李承晩ラインのために、越ヶ浜、玉江浦を根拠地とする東支那海延縄漁業がおりやかされ、萩市ではこれまで20隻の漁船が拿捕され、200名に余る船員が抑留された。乗組員は全員帰還したが、日韓漁業問題の早期解決が望まれる。

漁船保有状況

種類	動力船								無動力船 隻数		
	30トン以上		10~30トン		10~5トン		5トン未満			計	
区分	隻数	トン数	隻数	トン数	隻数	トン数	隻数	トン数	隻数	トン数	313
隻数	37	603	198	3,395	55	318	577	825	867	5,141	
比率	4.3		22.8		6.3		66.6		100.0		

昭和35年度

漁業別	生産額
総数	902,223,760円
施網	126,253,537
曳網	162,974,985
敷網	10,591,466
刺網	56,235,529
釣延縄	299,296,380
定置網	38,362,559
一本釣	97,207,301
採貝採藻	12,770,118
その他の海面漁業	98,561,885



第一三見丸 39トン

三見漁業協同組合が行詰った沿岸漁業を打開するためまぐろ延縄漁業へ転換を企図して、昭和35年11月上旬建造、昭和35年12月18日処女航海に出航、ディーゼル機関180HP、無線送受信機等最新の装備をもつ。

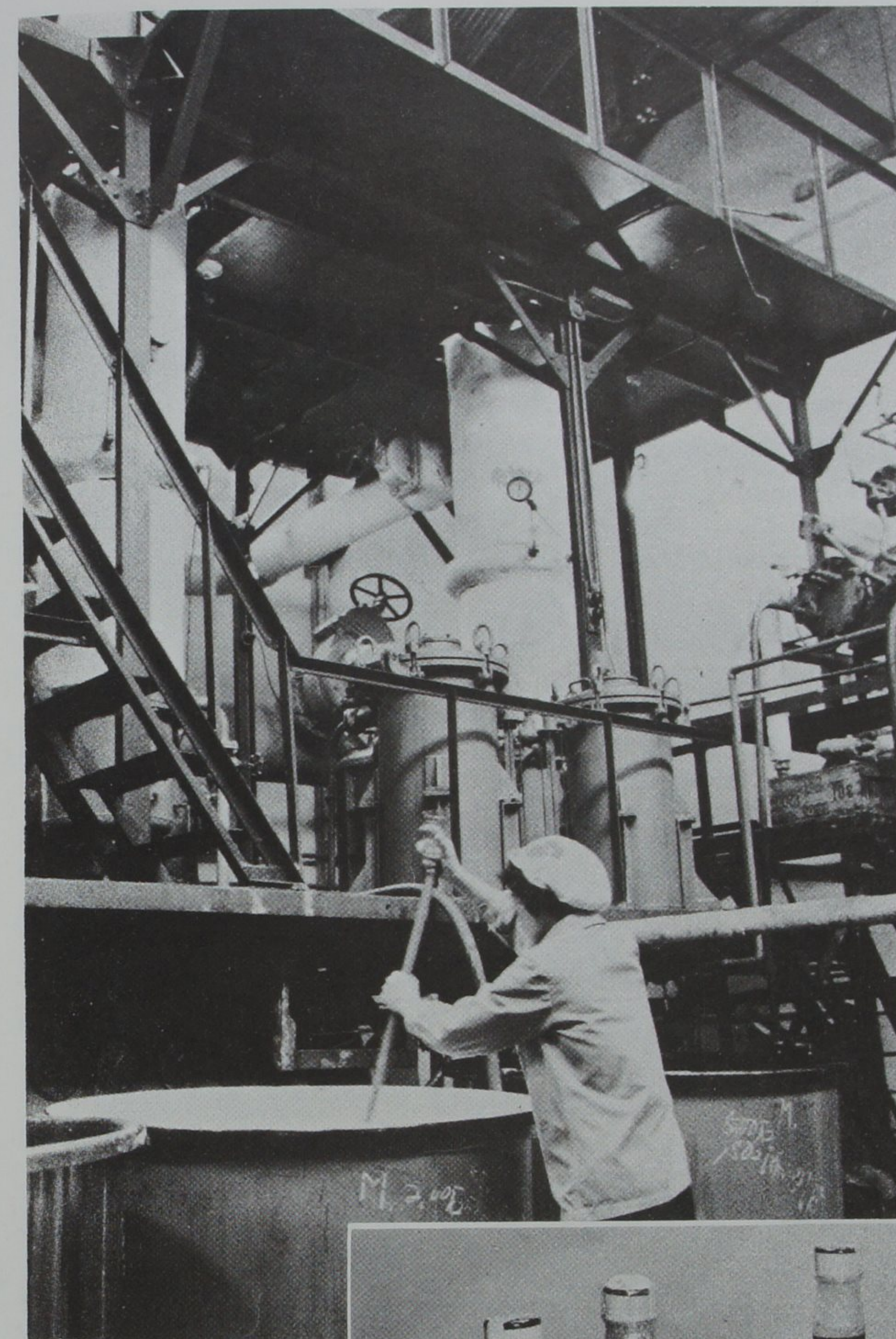
特産品

本市を中心とする山陰沿岸の地域に生産される夏柑の落果または市場へ搬出不可能の不良果の加工処理と、近海で漁獲した水産物の加工を目的として昭和12年開設、爾来終始農業団体の直営工場として経営され、この間事業内容も変遷をみたが、近年に至り柑橘および農水産加工に重点化され、特に柑橘加工についてはオレンジジュース製造設備を強化すると共に各種バルブ製造に着手し、柑橘の全面的利用を見るに至った。

(上) グリーンピースの罐詰作業
(下) 皮むき作業



山口県経済農業協同組合連合会萩加工場



果汁濃縮装置



製 品

(最近の製造実績)

品 名	数 量
夏みかん濃縮果汁	430トン
温州みかん濃縮果汁	330トン
葡萄・パイナップル濃縮果汁	50トン
みかん缶詰	25,000 c/s
オレンジマーマレード	15,000 c/s
オレンジピール	15,000 kg
濃厚ジュース	460,000本
オレンジジュース	670,000本
ジャム原料	140,000缶
筍缶詰	5,500缶
グリーンピース	2,300 c/s
トマトピューレー	6,000缶
桃缶詰	3,000 c/s

竹すだれ

本市附近は竹林が広く分布し、かつ良質であることから、竹材加工は古くからかなり発達しており、夏柑出荷のための竹かごの加工は広く行なわれて来た。

輸出スダレはこうした立地条件に恵まれ、昭和24年頃から手がけられ、漸次発展をみたのもである。当初スダレ加工といえば大阪富田林・九州方面が業界を支配しており、生産量も全国の一割にみたぬものであったが、輸出産業特有の景気変動にも耐え、最近では従来まで手加工で行なっていた竹削作業の機械化を行ないコスト引下げに成功、まず輸出向の本命であるスラットスダレでは全国業界で主導的な地位を確保するに到った。

現在年間生産額 約2.5億円、この殆んどすべてが米国向に輸出され、将来の飛躍が期待されている。



かまぼこ

萩市におけるかまぼこの歴史は古く、藩政時代北浦地方に獲れる鮮魚の味覚を、そのまま江戸の將軍家へ賞味させたいとの意向から工夫されたということから始まる。それだけに加工の技術も伝統的なものがあり、現在市内で約50軒の加工業者が、えそ、小だい、ぐち等の高級魚を原料とした焼抜かまぼこを主として製造し、京阪神、遠くは東京方面にまで送り出され、萩名産の名を高めている。



萩 焼

朝鮮の役（1598）に毛利輝元が、陶工を伴い帰り、朝鮮の陶法によって製造させたのが今日有名な萩焼である。350年の伝統的な技術に近代的な感覚をもった典雅な茶器は多くの人々に珍重愛好されている。



成型はろくろの操作によって行われる

小 萩 人 形

昭和の初期ごろから婦人によってつくられはじめた小萩人形は、繊細優雅な技法により多くの人に愛好されている。



商 業



田 町 商 店 街

店 舗			
区 分	店 舗 数	従業者数	年間売上高
		人	千円
一 般 卸 売 業	211	1,239	4,295,501
織物・衣服・身のまわり品小売業	118	542	688,355
飲 食 料 品 小 売 業	501	1,106	1,131,002
飲 食 店	139	558	168,238
自動車・荷車・小売業	31	63	37,112
家具・雑物・什器小売業	89	287	231,898
そ の 他 の 小 売 業	202	685	598,814
計	1,291	4,480	7,150,920



観光アンケートの抽せん風景

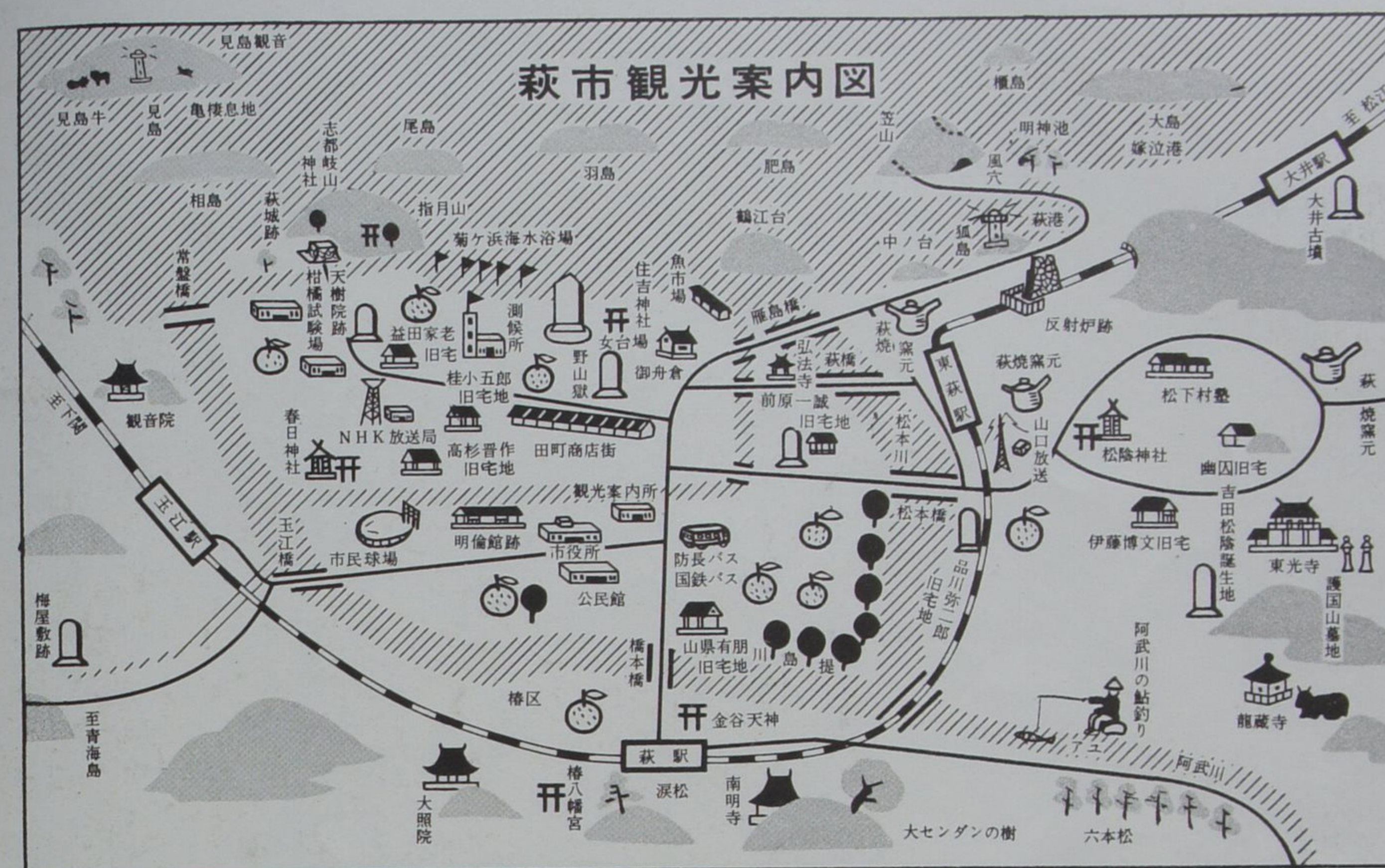
昭和36年春秋市を訪れた
観光客に観光施設その他
についてアンケートを行
なったが、同年6月中旬、
回答者の中から抽せんで
当選者をきめた。



当選者に贈られた萩焼と小萩人形



萩市観光案内所



勢揃いしたガイド



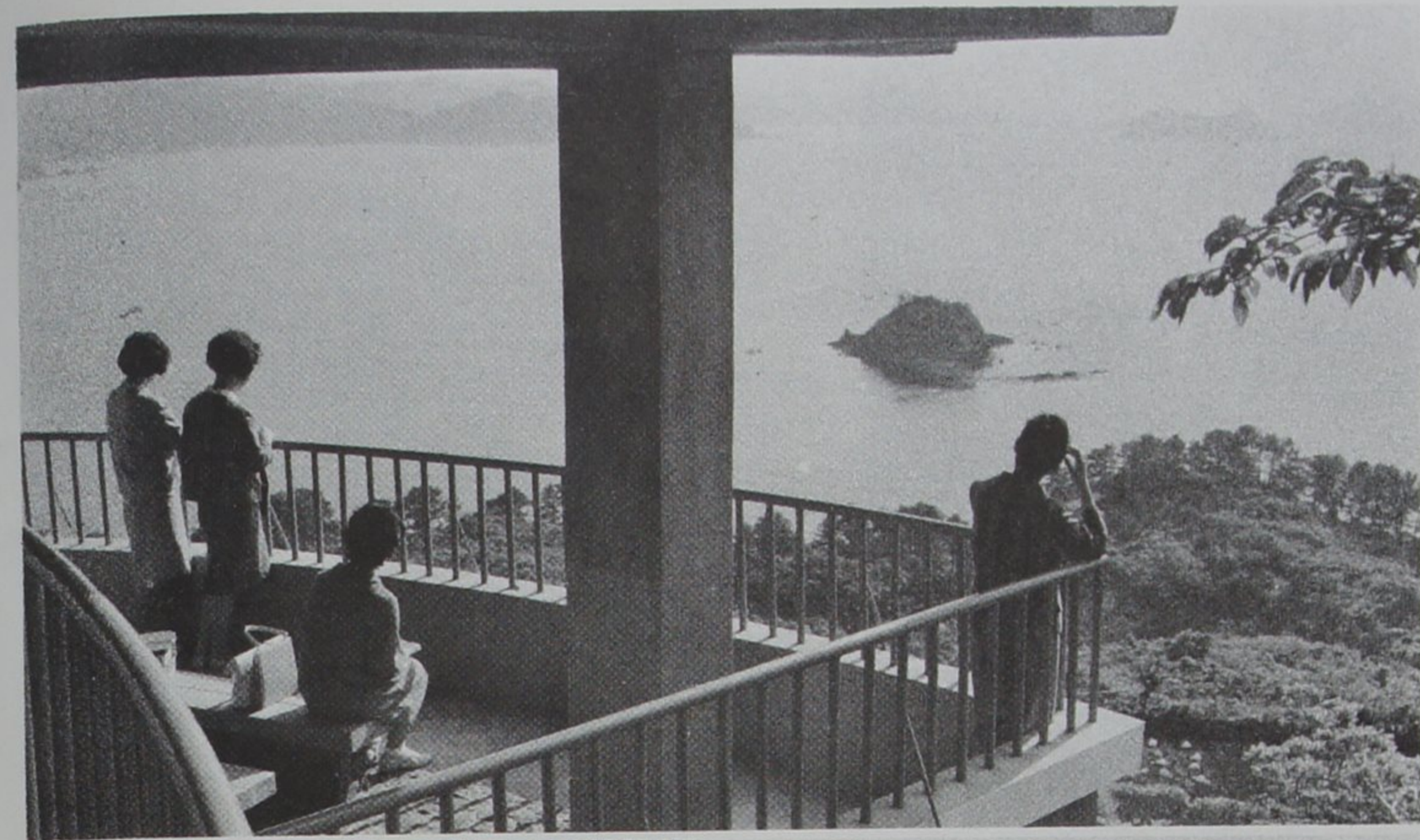
指月公園から萩海岸を眺める



笠 山



噴 火 口

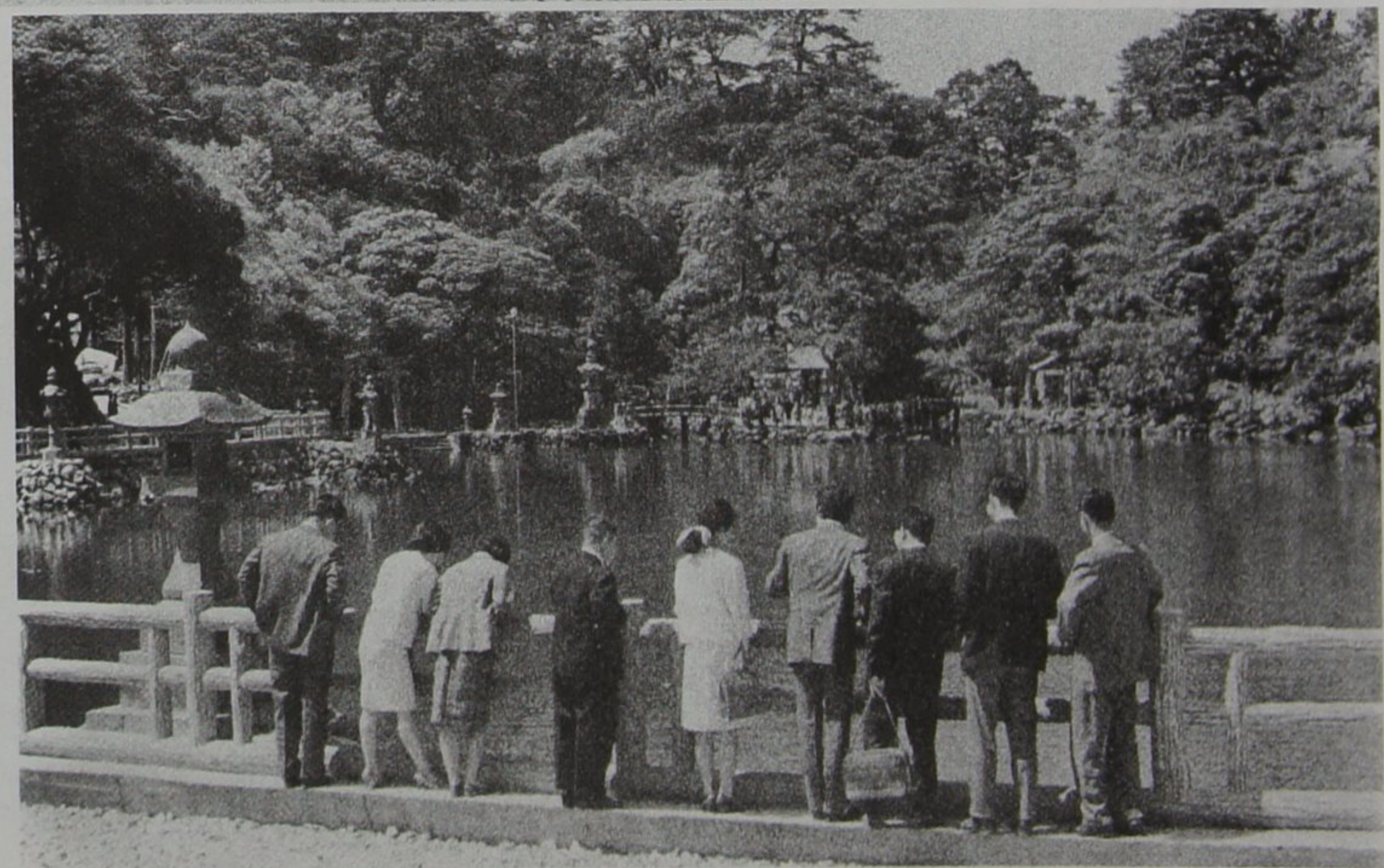


明 神 池

笠山のふもとの天然かん水池。

越ヶ浜明神社の放生池でもあり、近海魚が多数棲息している珍しい池。

(国指定天然記念物)



笠 山

笠山は標高112米で、頂上に径30米、深さ30米の噴火口があり、下部はアスピーデ式(熔岩の台地)で、その上にトロイデ式(円錐型)の火山がある成層火山で、笠のような形をしているので笠山と呼ばれている。洪積世に噴火したものといわれ、石英の結晶を含む「石英玄武岩」は大変珍しく、山麓には数箇の風穴があり、夏涼しく、冬暖かで、また明神池を始め、かん水湖がいくつかある。また天然記念物のコウライタチバナをはじめ、寒・暖地性の珍しい植物も繁茂している。

(上) 山頂の休憩所から眺める日本海

(下) 完成した登山道



松陰神社

松陰愛用の硯を神体として
 この神社は1890年私祠として
 創立された。

側に松下村塾の諸士を祀る松
 門神社がある。

松下村塾

この小さな建
 物で、松陰が弟
 子達を導いたの
 は、僅か2年半
 にすぎなかった
 が、明治維新に
 活躍した萩藩の
 逸材は多くここ
 に学んだ。

(国指定史跡)

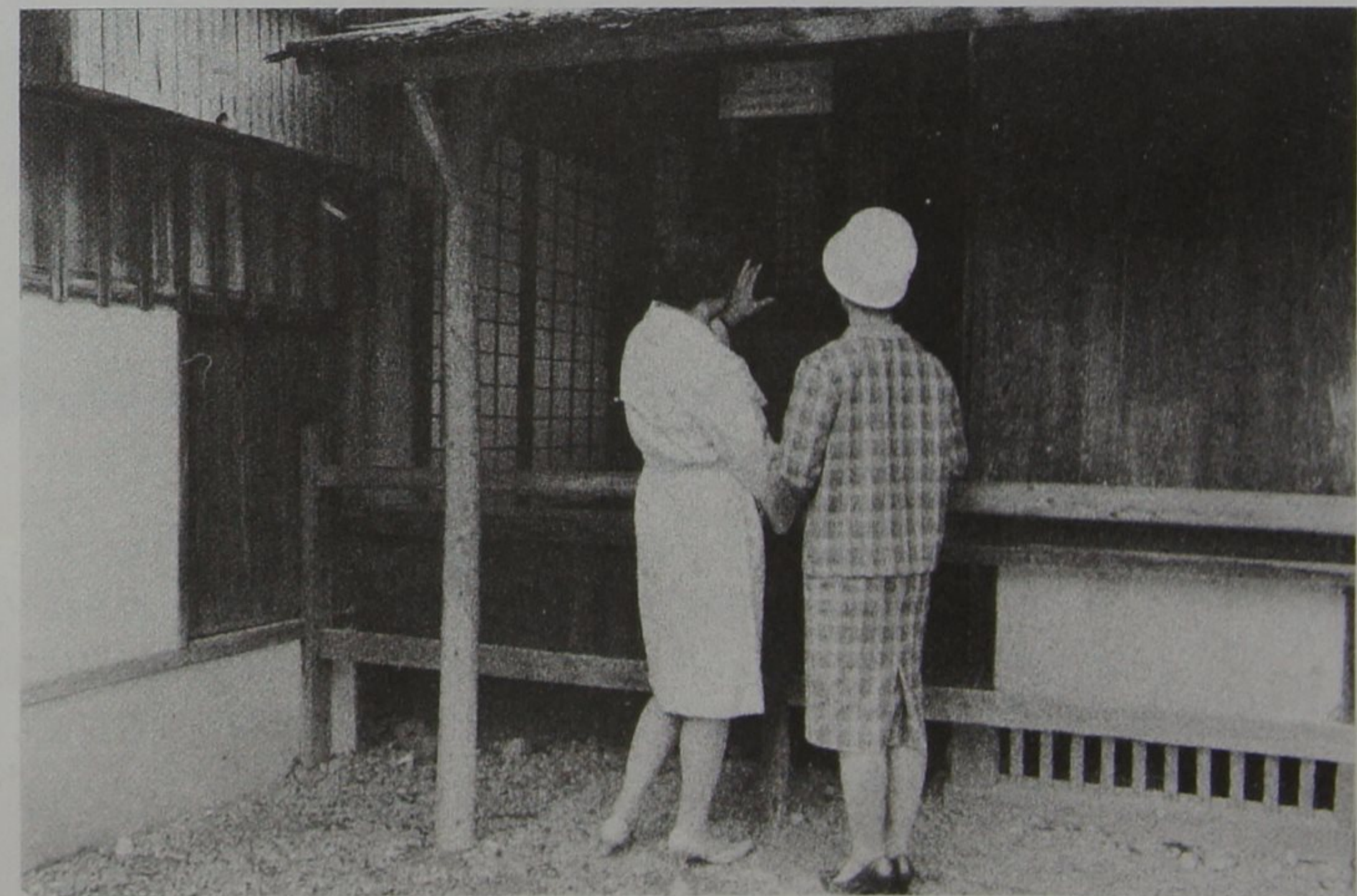


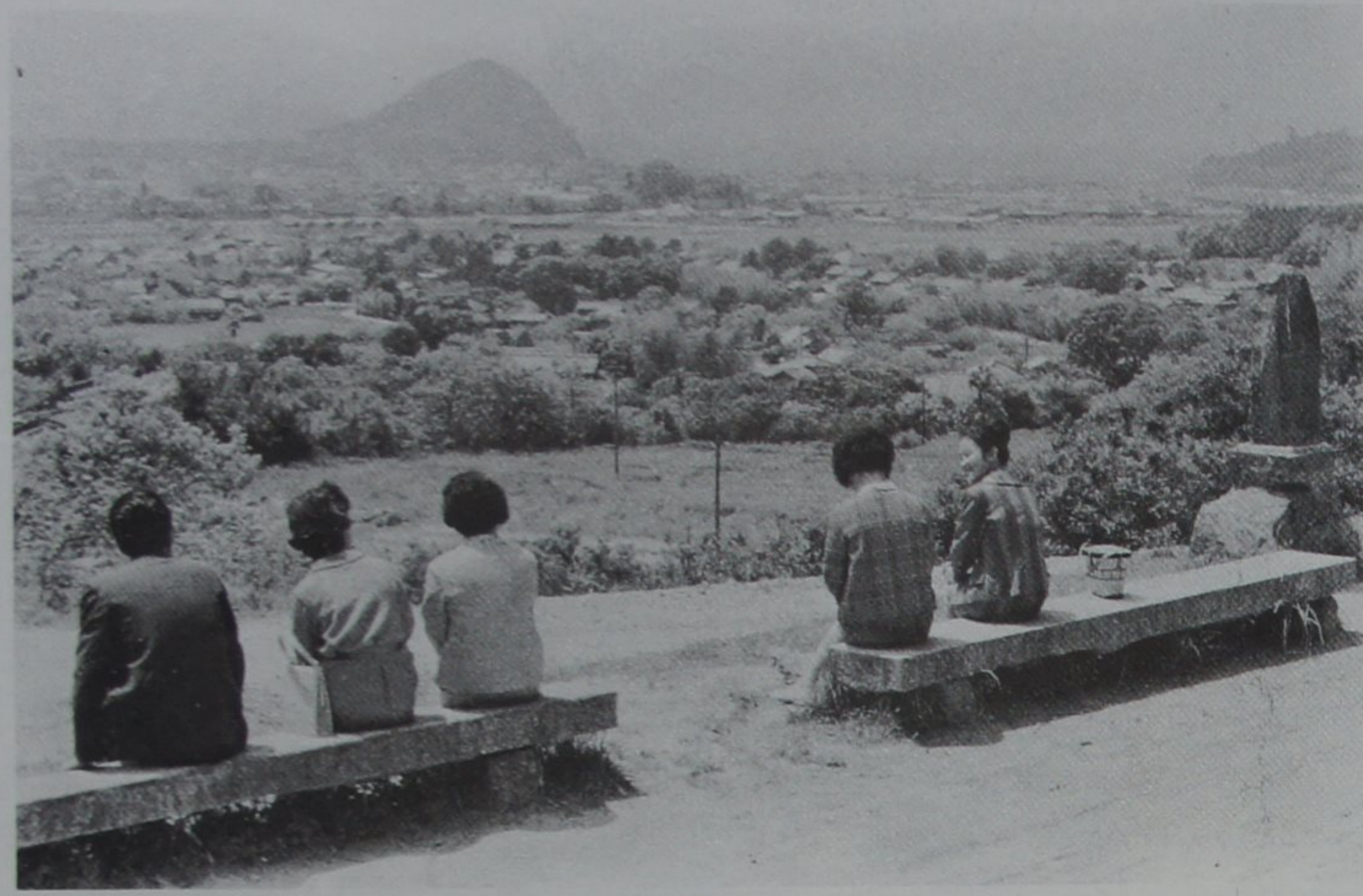
松陰遺墨展示館

吉田松陰の遺墨、遺品を展
 示して松陰の人となりと事績
 を偲ばしめる。松陰神社境内
 に吉田松陰百年祭を記念して
 建設された。

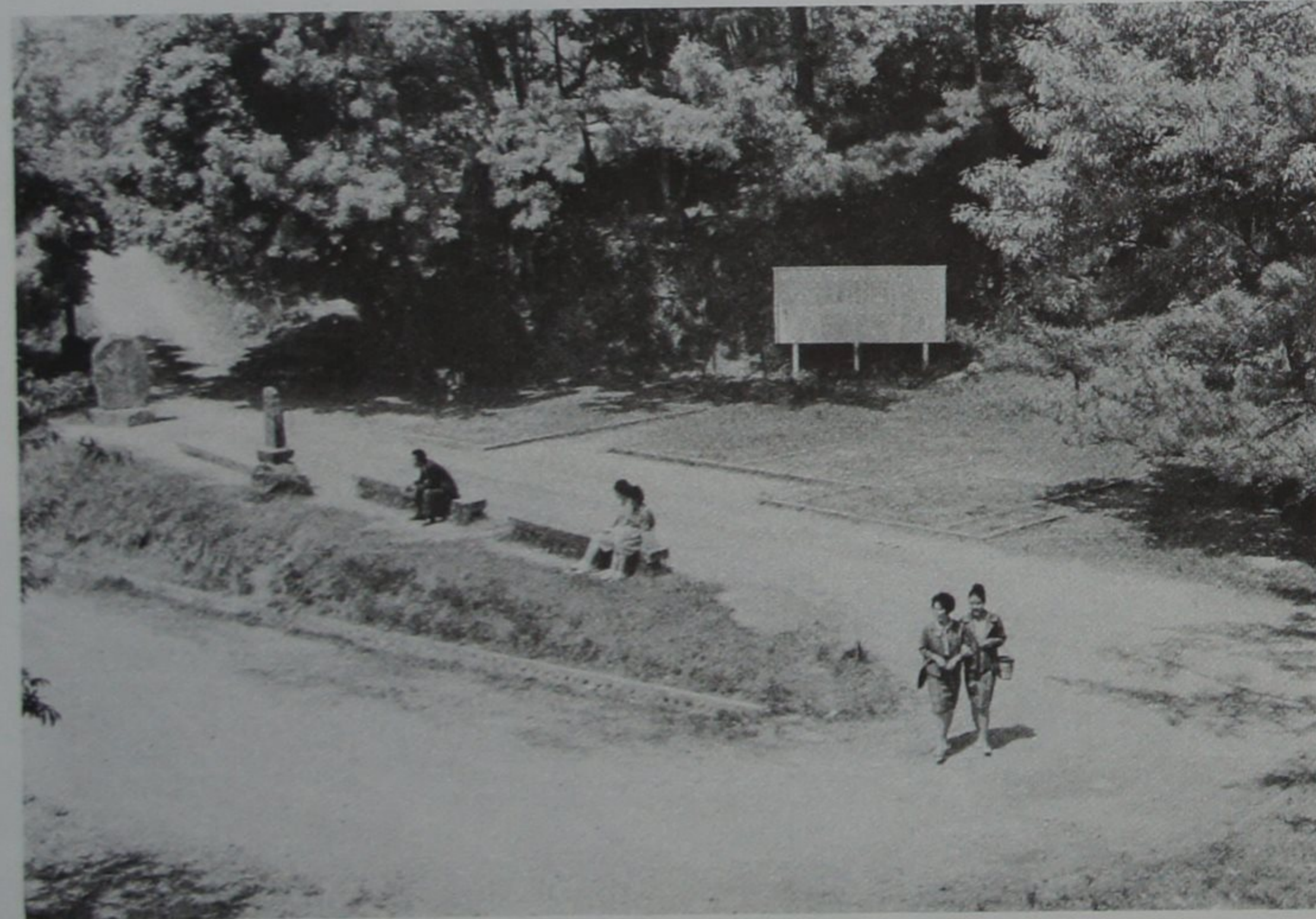
吉田松陰幽囚 の旧宅

松陰の実家杉
 家の住宅、松陰
 はこの四畳半の
 一室に、前後二
 回幽囚生活を送
 り、読書の傍ら
 家族や弟子たち
 に書を講じ続け
 ていたという。
 (国指定史跡)





松陰誕生地から指月山を望む



松陰誕生地

松陰の実家杉家と、養家の吉田家は共に、もと萩川島にあったが、文化10年(1813)3月、ともに類焼し、その後文政8年(1825)杉家はこの地にあった樹々亭に移り住み、天保元年(1830)8月4日に松陰は誕生した。今日その邸址の間取りは敷石をもって示してある。

市街展望の好適地でもある。

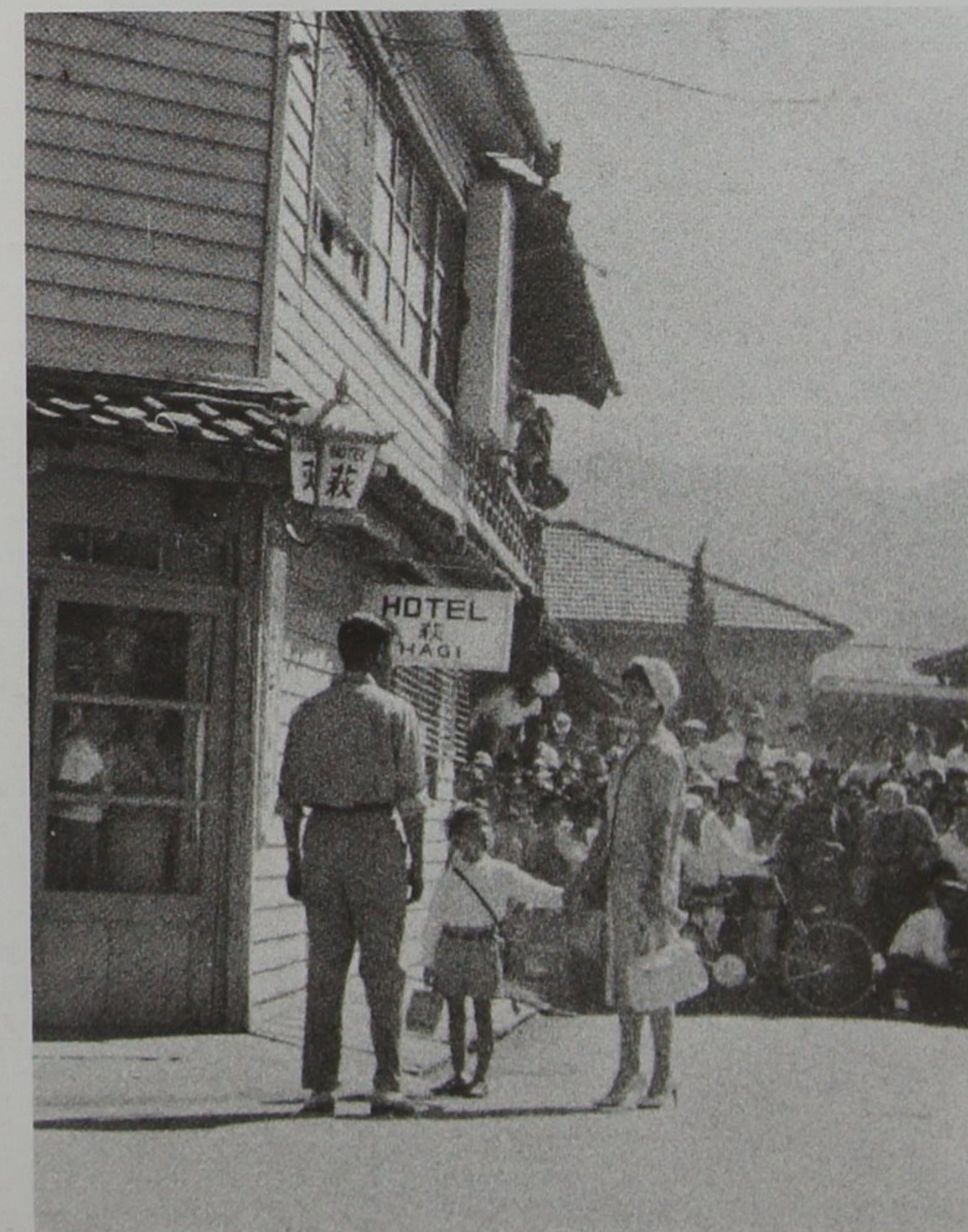


反 射 炉

萩藩が艦船銃砲製作のためつくった設備で我が国現存中2カ所の一。1858年建設。

(国指定史跡)

集金旅行口ケ風景





青海島

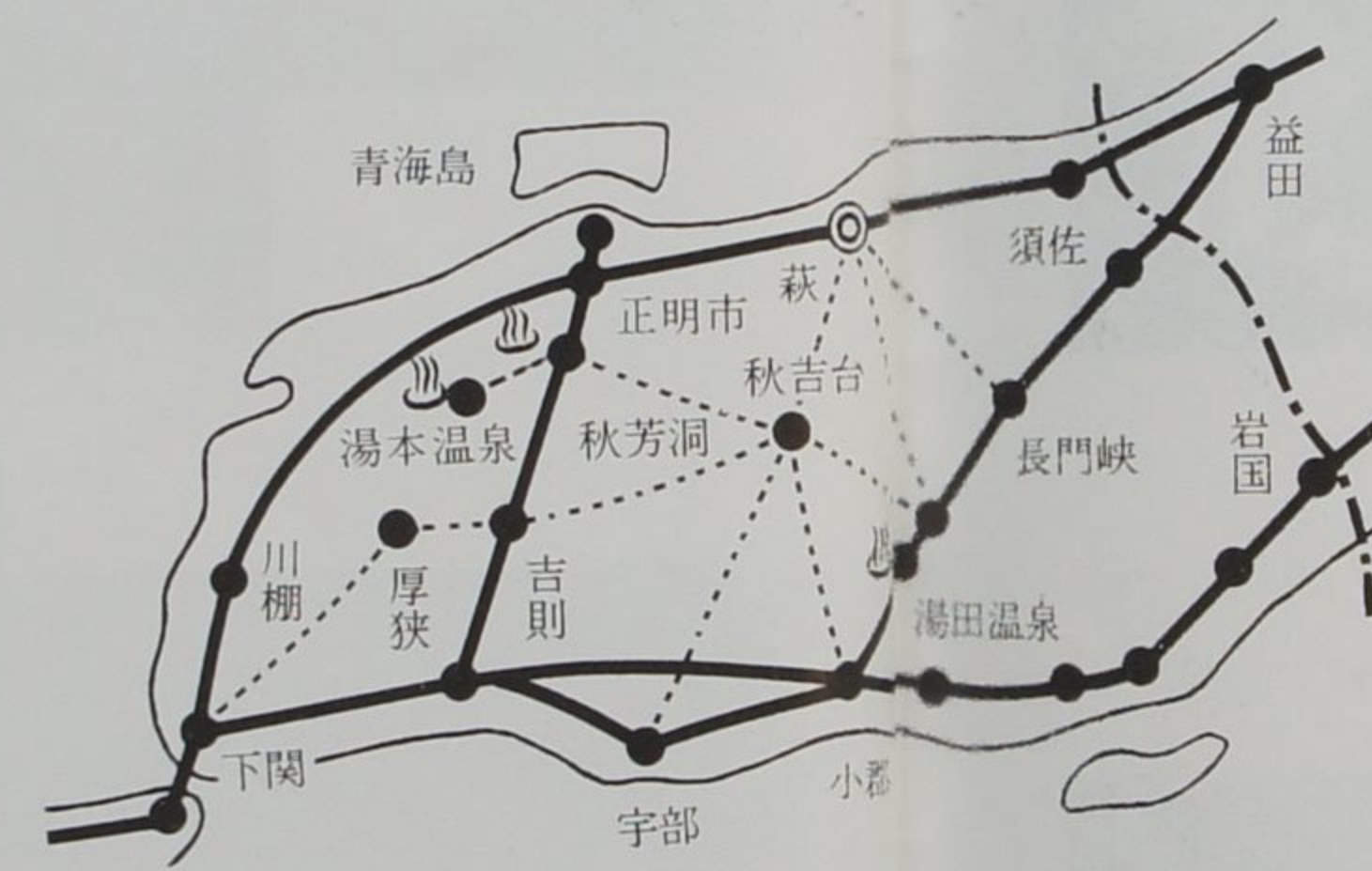
萩市周辺 観光案内

所要時間

- バス 1時間30分 → 秋芳洞
- バス 1時間20分 → 湯本温泉
- 汽車 30分 → 正明市(青海島)
- バス 1時間35分 → 長門峡
- 汽車 50分 → 須佐



湯本温泉



長門峡



秋芳洞



秋吉台



須佐ホルンフェルス

教育文化

学校教育

明倫小学校の道徳教育

松陰の歩んだ道を通して、児童の郷土愛と道徳性を啓培するため、昭和33年4月から始められ、週1時間行なわれている。



産業教育センター

市内各中学校に鉄工、木工に関する指導、実習を行っている。昭和37年6月4日より開設

日米高校生徒の交歓

萩高では「友情」「理解」「寛容なる世界観」を生み出すことを目的として、日米高校生徒の交歓を行なっているが第1回（昭和21年7月）以来第9回を数えている。



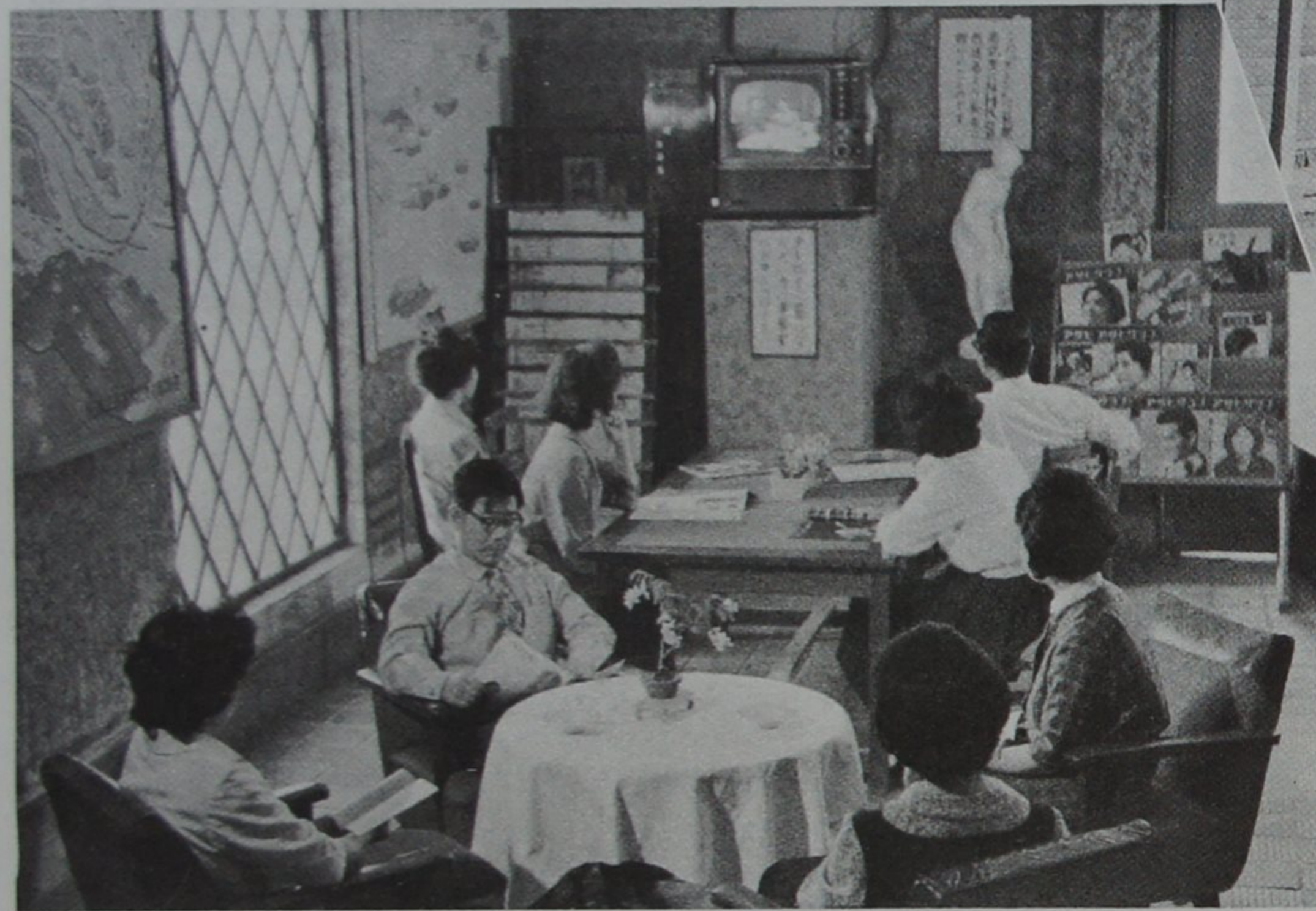
教員と生徒数

37.5.1 現在

区分	学校数			教員数			生徒・児童数		
	総数	公立	私立	総数	公立	私立	総数	公立	私立
総数	28	23	5	607	549	58	14,560	13,549	1,011
幼稚園	2	—	2	16	—	16	310	—	310
小学校	12	11	1	208	198	10	7,042	6,823	219
中学校	11	10	1	246	239	7	4,586	4,509	77
高等学校	3	2	1	137	112	25	2,622	2,217	405



萩光塩女子学院の円形校舎



本館ホールの一部

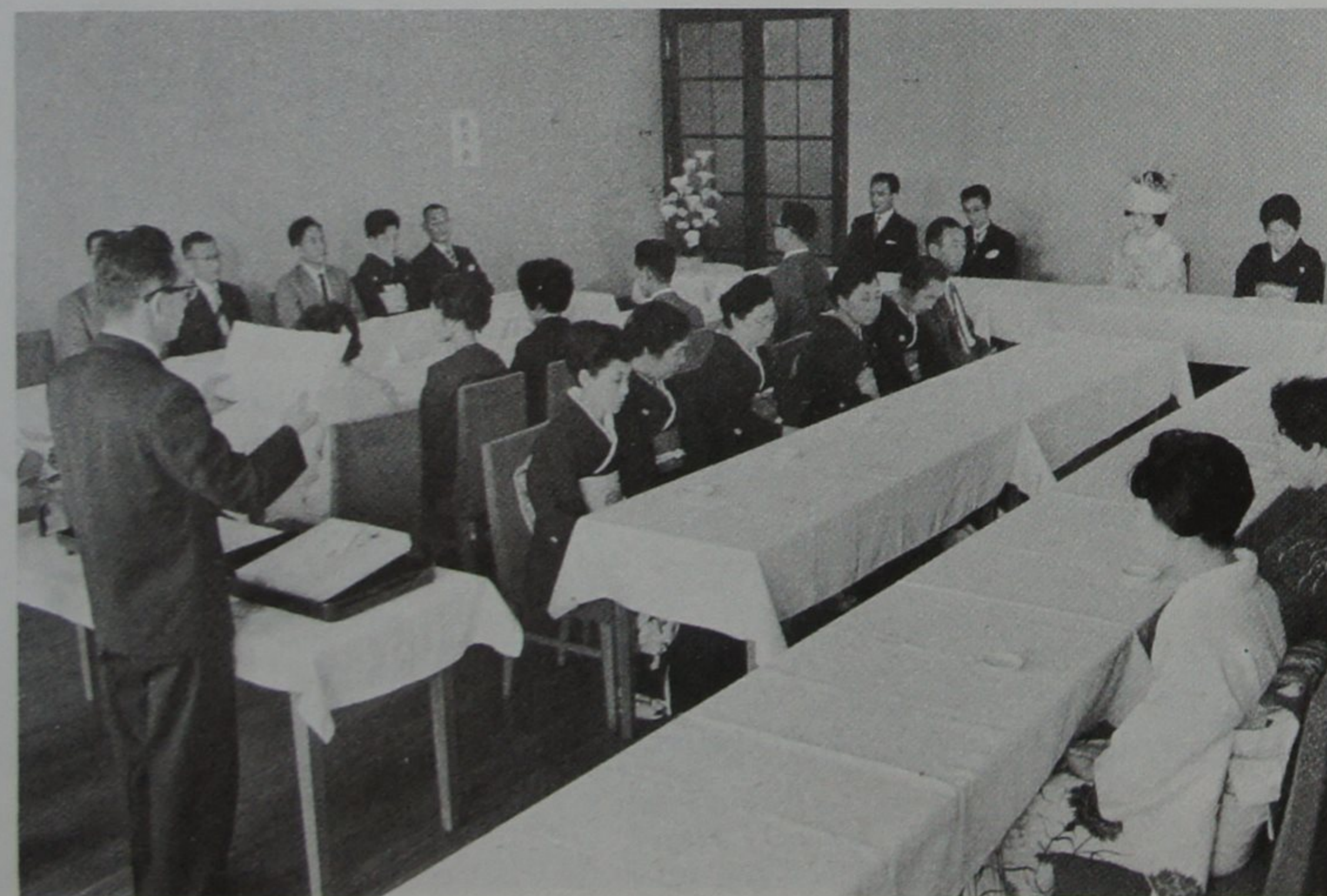


萩市中央公民館

全国10館の一つとして、昭和36年11月3日文部大臣表彰をうけた。小講堂、講座室、実習室、集会室、日本間、結婚式場、ギャラリー、玄関ホール（談話休憩室）の各部室をもつ、延1,950平方メートルの木造2階建。



婦人学級



結婚式

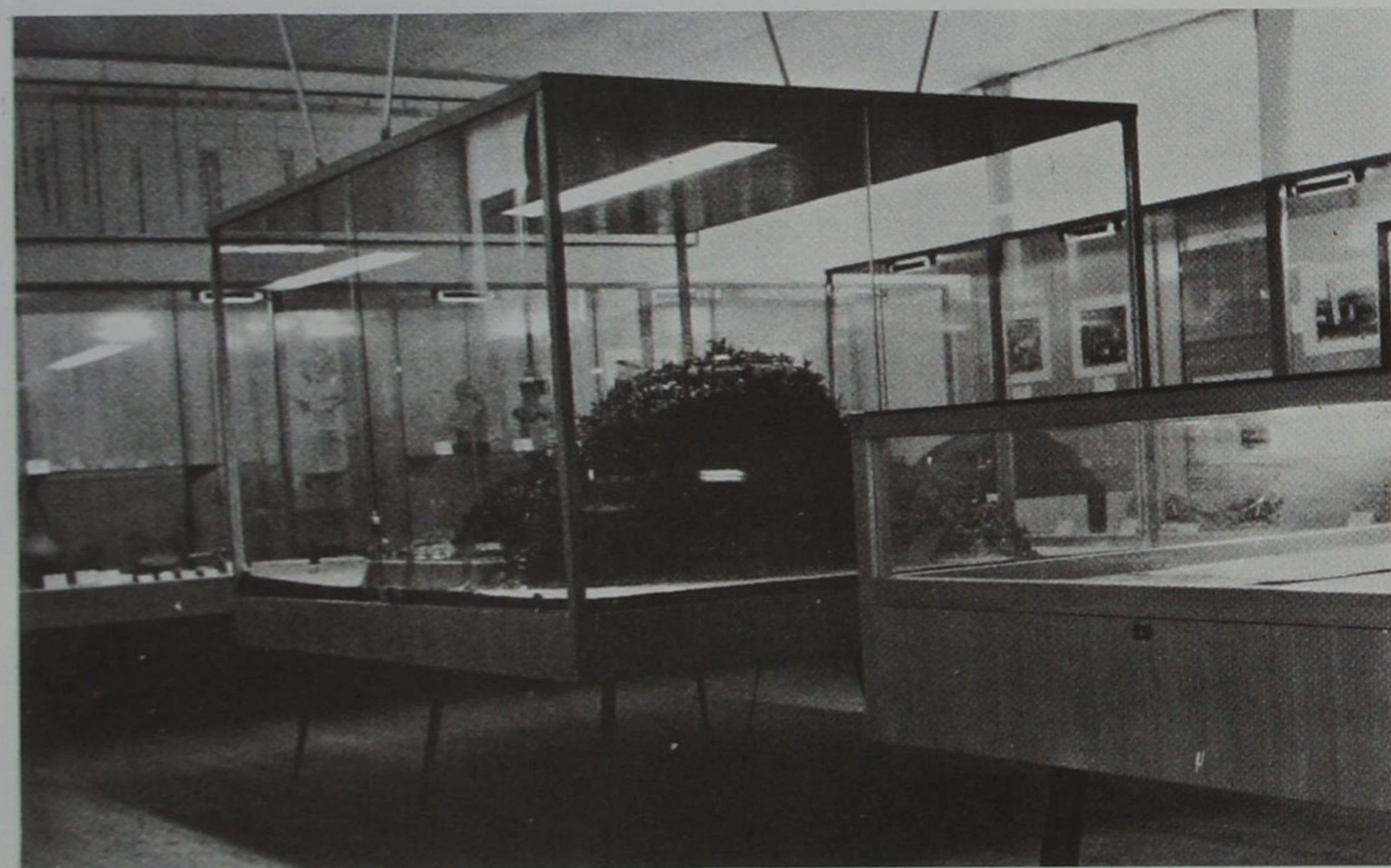


松陰神社境内を清掃するボーイスカウト



萩市郷土博物館

萩市郷土博物館は、博物館法にもとづく博物館であり、建物235坪を有し、自然科学資料7,605点、人文科学資料2,608点を収蔵している。通常展示、特別展示のほかに、採集会、観測会、探訪会、説明会等をしばしば開催している。



館内展示室の一部



見島総合学術調査

昭和35年から3回にわたって毎夏、見島の考古、民俗、歴史、地質、生物の各総合調査が行なわれている。
(写真はジーコンボ古墳発掘)



博物採集会

冬季を除き毎日曜日に、植物、貝類、昆虫、鉱物採集に出かけている。児童を中心に科学する態度を教育している。



山口県立萩図書館

昭和36年度の利用状況

入館者数	45,697人 (1日平均165人)
一般	12,901人
学生	8,994人
児童	23,802人
閲覧冊数	55,287冊 (1日平均200冊)



閲覧室

民 俗

天 狗 拍 子

玉江浦権現社秋の大祭（10月25日）に奉納される大漁踊りである。現在は漁家の小学6年生14名によって演じられる。



お 船 謡

住吉神社夏の大祭（7月30日～8月3日）の御座船神事に唄われるもので朱塗船形の山車に総勢16～18人の囃手が袴を着けて乗り、囃太鼓で唄う古風な謡である。



見 島 ヨ ー ズ

見島では家に長男が生まれると親戚より傘紙をもちより、それで大凧を造って正月にあげる風習がある。畳数枚にも及ぶ大凧もあり、まことに壮観である。



嫁泣節

萩市の東北部に位する越々浜漁業部落は半島のため清水が湧かず、遠いところにある井戸まで飲料水を汲みにゆかねばならず、それは若い嫁さん達の仕事であった。その水汲みの辛さに嫁さんが泣いたといい、現在嫁泣節の地名もある。萩の郷土史家田中俊資がこれから取材して嫁泣節を作詞し、舞踊もふりつけて萩市の民謡となって広く歌われている。



夏みかん音頭

一、ハアー萩は名どころ
住みよいところ
白い花さく夏みかん
ゆかし歴史の香りを今に
まして人情の濃やかきソレ
舌の鼓が囃してほめて
ナンナンナニヨリ夏みかん

二、ハアーお武家屋敷の
築地に覗く
面も黄金よ夏みかん
偲ぶ城址絵のよに浮いて
街は平和の花模様ソレ
舌の鼓が囃してほめて
ナンナンナニヨリ夏みかん

三、ハアー甘い口づけ
現か夢か
こゝろ浮きたつ 夏みかん
萩で育った 箱入娘
どこのお方に嫁ぐやらソレ
舌の鼓がほやしてほめて
ナンナンナニヨリ夏みかん

嫁泣節

一、男前じやと嫁にはきたが
磯の女松もお前待つ
ホンニ ホンニホンニサ
お前待つ

二、暗い夜道も島田のままで
わたしや泣き泣き
水汲みに
ホンニ ホンニホンニサ
お前待つ

三、浜へ上れば白い手が招く
お前つなごか錆づな
ホンニ ホンニホンニサ
錆づな

男なら

男なら
おやりかついで
お仲間となつて
ついて行きたや
下関
お国の大事と
きくからは
女ながらも
武士の妻
まさかの時には
しめだすき
神功皇后さんの
雄々しい姿が
鏡じや
ないかいな
オーシャリ
シャリ

男なら

尊王しょう夷討幕の論のやかましかった幕末、文久元治の頃、萩の城下もまた物情騒然としていた。長州藩は下関で外艦を砲撃し、こちら米仏のため軍艦が撃沈され、砲台と、2千余戸の民家が兵火をこうむったという悲報が伝わった。武士という武士は海防警備のため、下関、三田尻方面にでかけていた。折しも萩の神合はるかにロシアの軍艦が再度通過したので、今こそ長州武士の妻の心意気を示すときと、老若婦女貴族一体となって菊ヶ浜に2キロにわたって土塁を築いた。これが今に残る女台場であり、この際士気を鼓舞するため歌ったのが「男なら」である。萩女の心意気を示した山口県代表民謡である。



文化財一覧

重要文化財一覧表

種別	名称	員数	指定年月日	所在地
彫刻	木造聖観音立像	1 軀	明治35. 7. 31	萩市椿字冲原南明寺
	木造千手観音立像	"	"	" "
	木造赤童子立像	"	"	" 椿字青海大照院
刀剣	太刀 銘 延 吉	1 口	大正 8. 4. 12	" 堀内城内志都岐山神社
	" 銘 光 房	"	"	" "
建造物	常念寺表門	1 棟	昭和 9. 9. 17	" 下五間町常念寺
絵画	絹本着色春冬山水図載文進筆	2 幅	" 31. 6. 28	" 呉服町菊屋嘉十郎

史跡・名勝・天然記念物

種別	名称	員数	指定年月日	所在地	
史跡	萩城跡		昭和26. 6. 9	萩市堀内	
	松下村塾		大正11. 10. 12	" 椿東松本新道	
	吉田松陰幽囚旧宅		" "	" "	
	萩反射炉		" 13. 12. 9	" 椿東上ヶ原	
	木戸孝允旧宅		" 7. 3. 25	" 呉服町	
	伊藤博文旧宅		" "	" 椿東松本新道	
	明倫館水練池明倫館碑及有備館		" 4. 12. 17	" 江向明倫小学校	
	旧萩藩御船倉		" 11. 12. 19	" 東浜崎町	
	天然記念物	コウライタチバナ自生地		" 15. 2. 24	萩市椿東越ヶ浜
		木部の大センダン		昭和13. 12. 14	" 椿冲原木部
明神池			大正13. 12. 9	" 椿東越ヶ浜	
見島ウシ産地			昭和 3. 9. 20	" 見島	
"	見島のカメ棲息地		" "	" 見島	

山口県文化財保存顕彰規定による文化財

種別	名称	員数	指定年月日	所在地
彫刻	木造釈迦如来座像	1 軀	昭和35. 4. 26	萩市椿青海大照院
	木造不動明王立像	"	" "	" 北古萩長寿寺
天然記念物	河内の大ムクノキ		" "	" 椿河内
無形文化財	工芸技術(萩焼)保持者十代三輪邦広		" 31. 8. 25	" 椿東無田ヶ原
無形文化財	住吉神社「お船謡」		" 33. 4. 25	" 浜崎

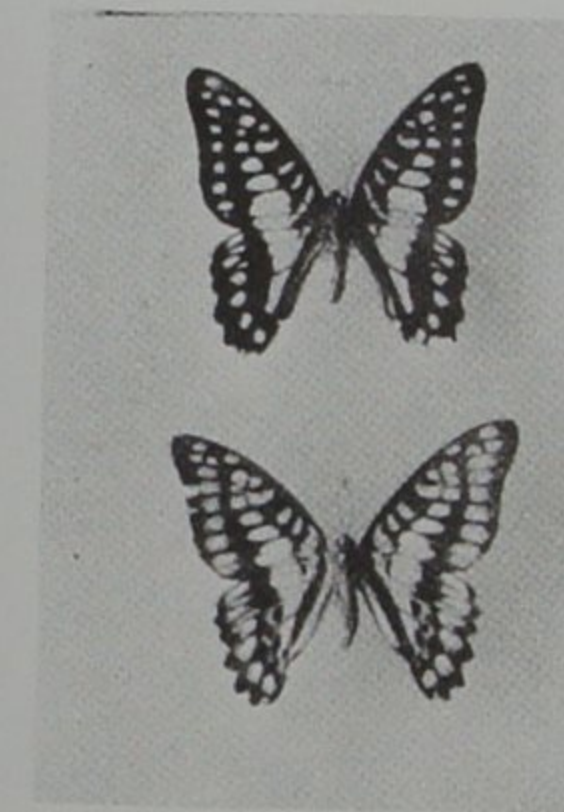
萩市指定文化財

種別	名称	員数	指定年月日	所在地
建造物	旧周布家門長屋	1 棟	昭和37. 1. 11	萩市堀内
	口羽良通氏宅門	1 棟	" "	" "
	平安橋	1 基	" "	" 堀内平安古総門前
	東光寺大雄宝殿	1 棟	" 37. 3. 26	" 椿東松本
	東光寺総門	1 棟	" "	" "
	東光寺三門	3 棟	" "	" "
	東光寺鐘楼	1 棟	" "	" "
史跡	萩城下街割原標石	1 基	" 37. 1. 11	" 江向米屋町下り
	指月山のミカドアゲハ		" 37. 1. 11	" 堀内
	指月山の樹叢		" "	" "
天然記念物	大照院の大藤		" "	" 椿青海大照院



常念寺表門

毛利輝元が約 330年前に当寺に寄進したもので、聚楽第の遺構といわれ、全体の構造、特にかえる股の彫刻に桃山時代らしい豪放さがみられる。(国指定重要文化財)



指月山のミカドハゲハ

ミカドアゲハ科に属する蝶。指月山は我国における本種分布の北限地になっている。(市指定文化財)



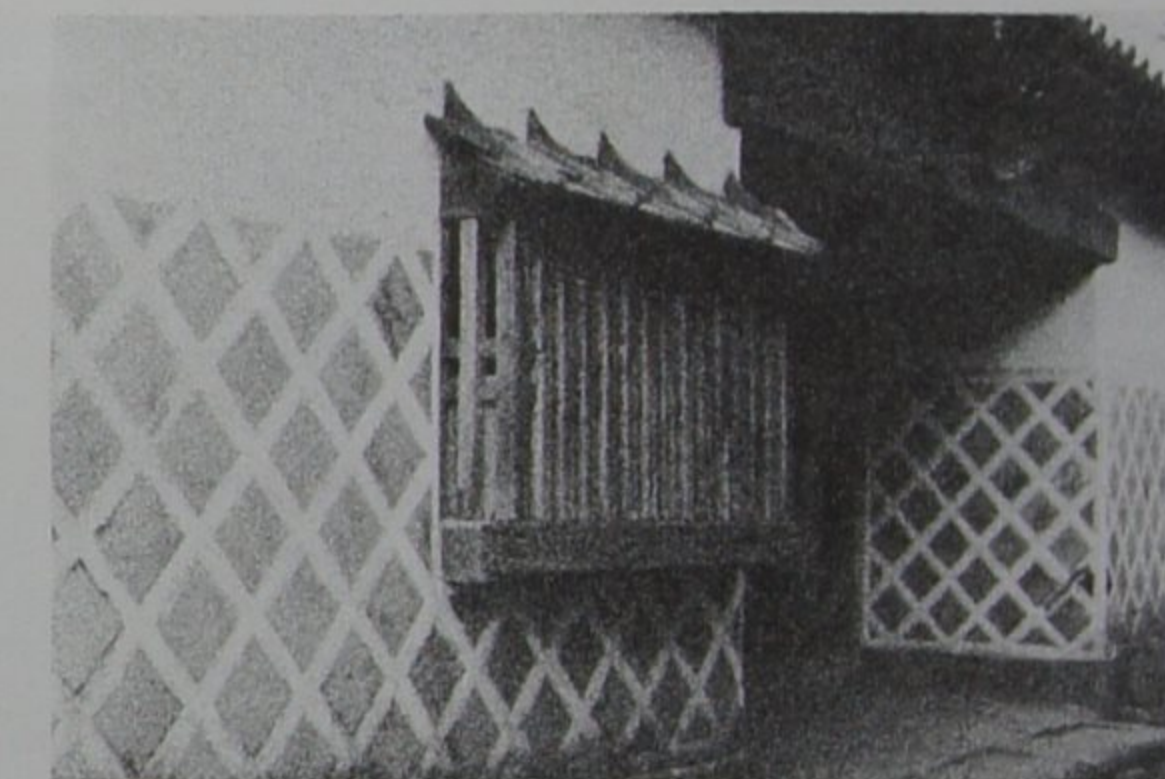
見島ウシ

見島ウシは我国で最も古い純粋和牛である。(国指定天然記念物)



木像不動明王立像

北古萩長寿寺不動堂に安置されている。平安時代後期の作といわれ忍怒の形相がよくあらわれている。(県指定文化財)



口羽家長屋門

現存している武家屋敷門中最大のものである。(市指定文化財)



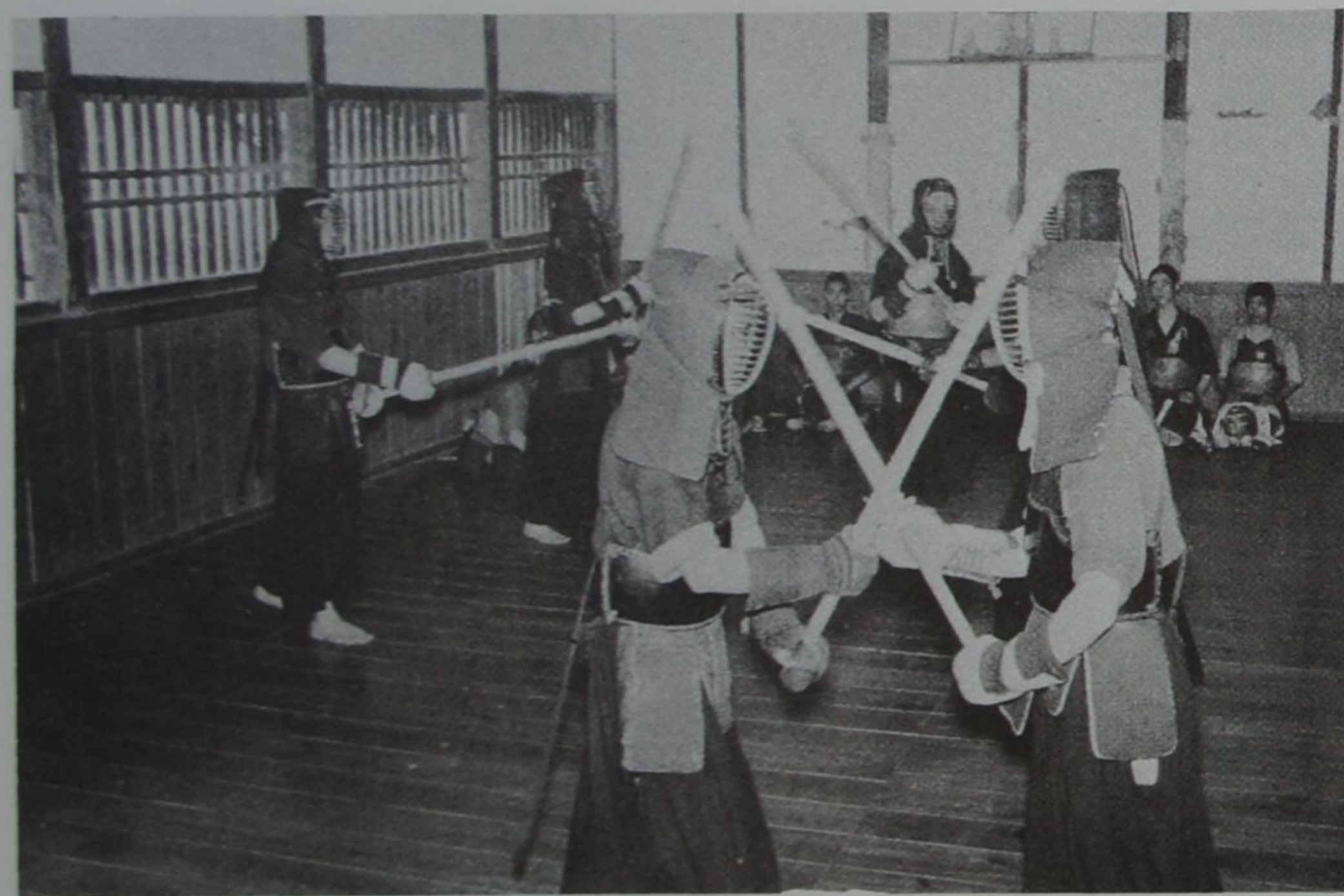
木部の大センダン

萩市大字冲原木部にある。目通りの周辺7.8メートルの巨樹である。(国指定天然記念物)

スポーツ



昭和36年7月1日開設した萩市国体事務局



山口県立萩商工高等学校剣部の稽古道風景 (有備館にて)



一般女子ソフトボールチームの練習風景 (市民球場にて)

社会福祉



指月園

生活保護法の保護状況

昭和36年度

区分	被保護者				金額
	実世帯	実人員	延世帯	延人員	
生活扶助費	235	544	3,234	8,623	12,137,405
住宅 "	73	239	1,140	4,036	873,444
教育 "	80	173	1,136	2,893	1,139,618
医療 "	73	82	1,707	2,423	20,653,102
出産 "	4	4	4	4	15,470
生業 "	9	9	9	9	49,671
葬祭 "	35	35	35	35	104,698
施設事務費			687	709	2,681,956
計	509	1086	7,952	18,732	37,655,364

萩救護所



保育所

保育所名	設立年月日	収容人員	保母数
土原 保育園	昭和23. 4. 1	110	6
越ヶ浜 "	昭和27. 8. 1	120	5
玉江 "	昭和29. 8. 7	100	5
樺 "	昭和30. 7. 1	60	3
新川 "	昭和33. 6. 1	60	3
三見 "	昭和33. 9. 1	55	3
白水 "	昭和34. 7. 1	60	2

保 健 衛 生

国民健康保健の概況

市民の医療保障制度として、萩市の国民健康保険は昭和34年10月1日に発足。

被保険者数 34,805人 ……加入率61%

世帯数 8,539世帯 ……加入率64%

昭和36年度の保険料の徴収率は95%

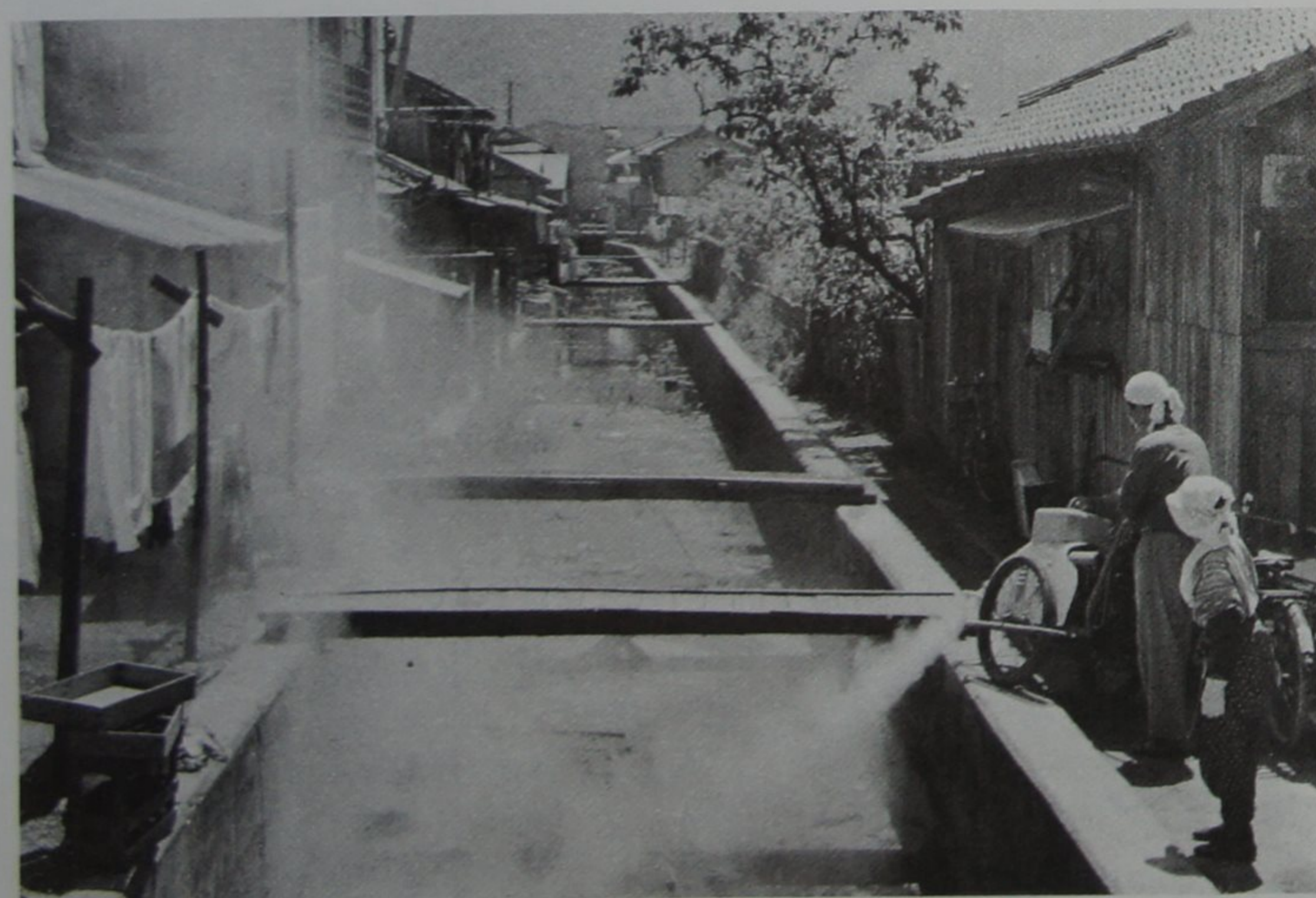
被保険者1人当り受診率27.8%

1件当り点数 112点 (単位10円)

被保険者年間1人当り医療費 1,557円



離島巡回診療風景



動力煙霧で、蚊、ハエの駆除

治 安



消防団の放水訓練(橋本川にて)

消 防 本 部

総員	消防長	消防司補	消防士長	消防士	その他
9人	1	2	2	2	2

消 防 団

総員	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
534人	1	1	20	19	22	85	386

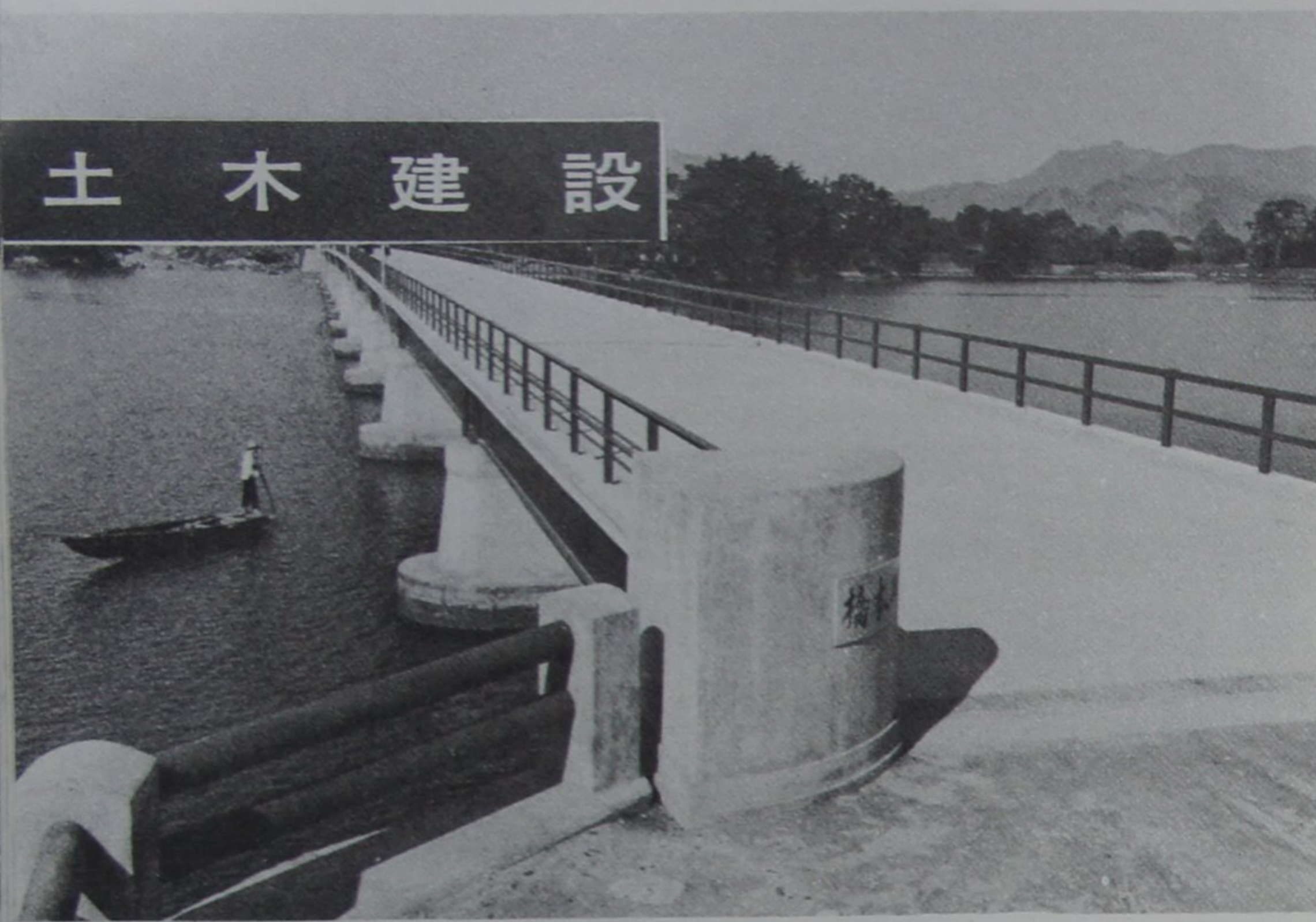
火災発生原因別件数 (昭36)

発生原因	件数	発生原因	件数
炬燵	1	漏電	2
煙草	5	コンロ	1
煙道・煙突	3	木炭	1
焚火	8	放火	2
火粉	3	動力モーター	1
焚火	2	ストーブ	2
線香	1	保温器	1
火あそび	1	油ボロ	2
アイロン	1		
取灰	1	計	38



交通整理を行う小学校生徒

土木建設

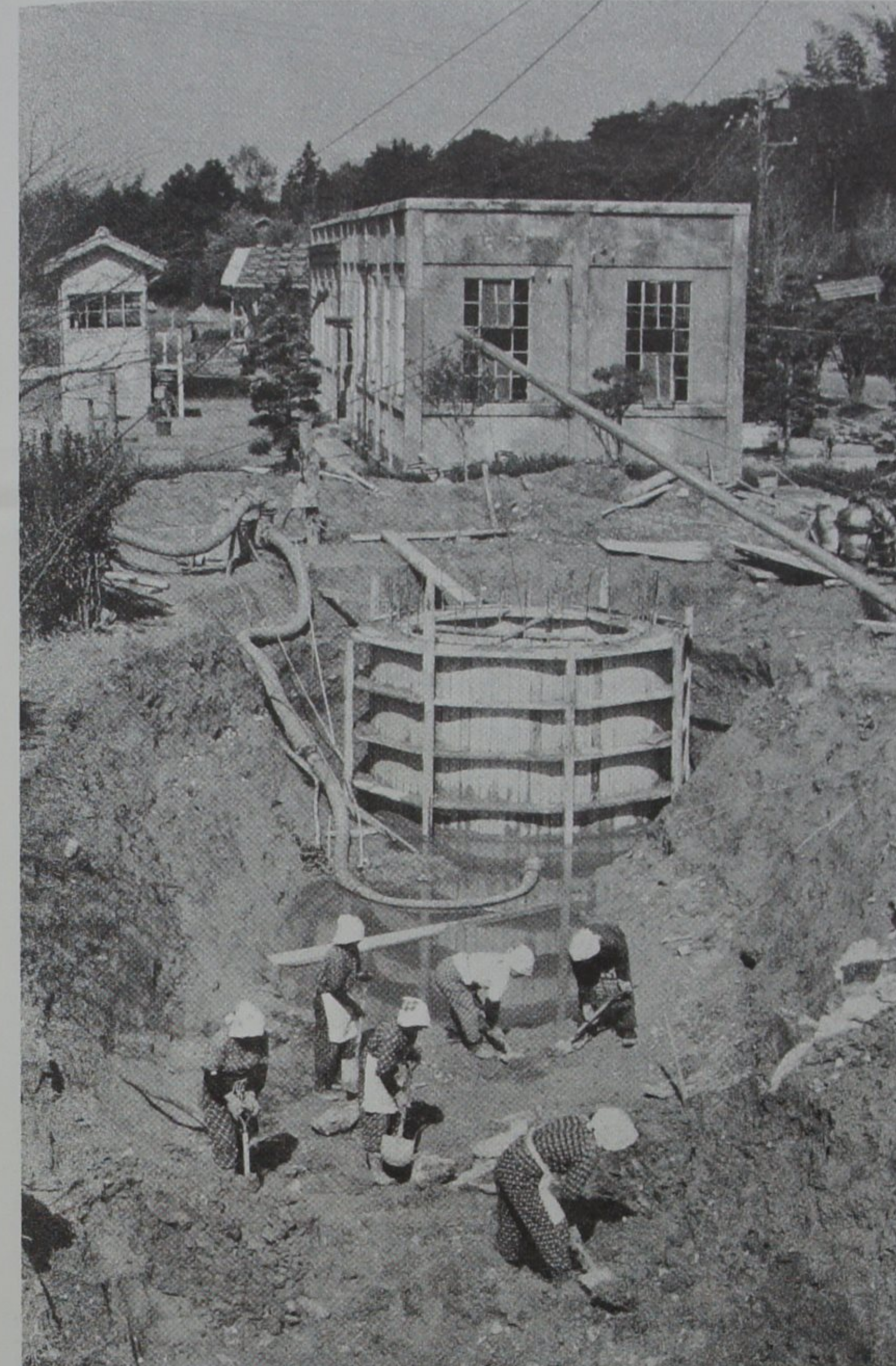


萩城跡へ通ずる常盤橋



新堀川浚渫工事

水道



水源地拡張工事

萩市上水道は昭和10年3月工事に着手し、昭和11年10月より一部給水を始め12年3月竣工、総工費46万円を要した。

終戦後、引揚などによる急激なる人口増加と、工場増設その他により著しく需要を増し、昭和23年から25年にわたり第一次拡張工事を行なった。しかし文化の進展と共に水の使用量も漸増し、再び33年夏頃より給水量に不足を来したので、昭和36年度より3カ年計画 6,700万円で第二次拡張工事に着手した。

上水道概要

	建設当初	第1次拡張	第2次拡張予定
計画給水人口(人)	30,000	39,400	40,000
配水量(立方米)	3,900	7,900	15,600
一人一日最大配水量(立)	130	200	390
揚水ポンプ	35HP 3台	35HP 3台 50HP 3台	50HP 7台 75HP 2台
配水池(屯)	1,200	2,400	(ディーゼル併用) 4,800
送配水管延長(米)	59,300	67,976	69,816
消火栓	211	237	245

運輸通信



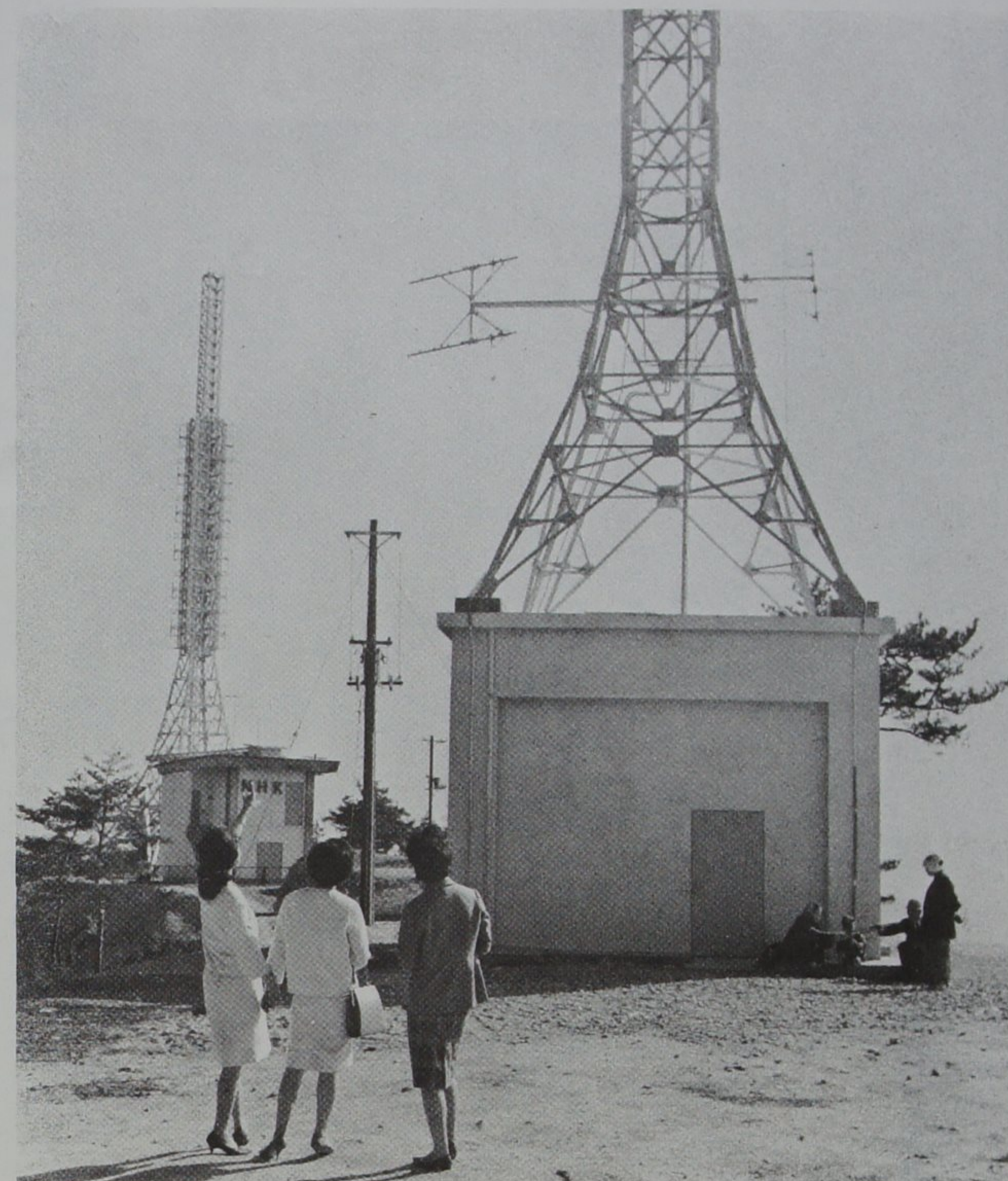
萩海岸を疾走する準急しんじ



準急やくもの車内でサービスする夏みかん娘

乗降客数(一日平均)

駅名	乗客	降客
長門大井	506	503
東萩	2,042	1,956
萩	390	424
玉江	1,066	1,047
三見	618	628



田床山山頂テレビ中継局 (サテライト)

N H K (後方)

周波数総合テレビ第3チャンネル (昭和36年12月10日開局)
教育テレビ第6チャンネル (昭和37年9月開局予定)

山口放送 (前方)

周波数第4チャンネル (昭和37年4月1日開局)



見島丸 萩-見島を結ぶ定期船 昭和34年10月進水
鋼船総トン数100トン 機関ディーゼル320馬力 速力11.5ノット
所要時間 2時間半 定員 50名 (萩海運株式会社経営)



桜の名所指月公園



桜並木の散策（川島堤にて）



おしくらごう

厳島神社の祭礼に、玉江浦の四組の青年宿から選ばれたそれぞれの選手が、五丁櫓の和船で海路往復8キロを競漕する。



菊ヶ浜海水浴場

指月山と鶴江台との間に連なる白砂青松の菊ヶ浜は日本海に珍らしい波静かな風景に恵まれた海水浴場である。



花火大会

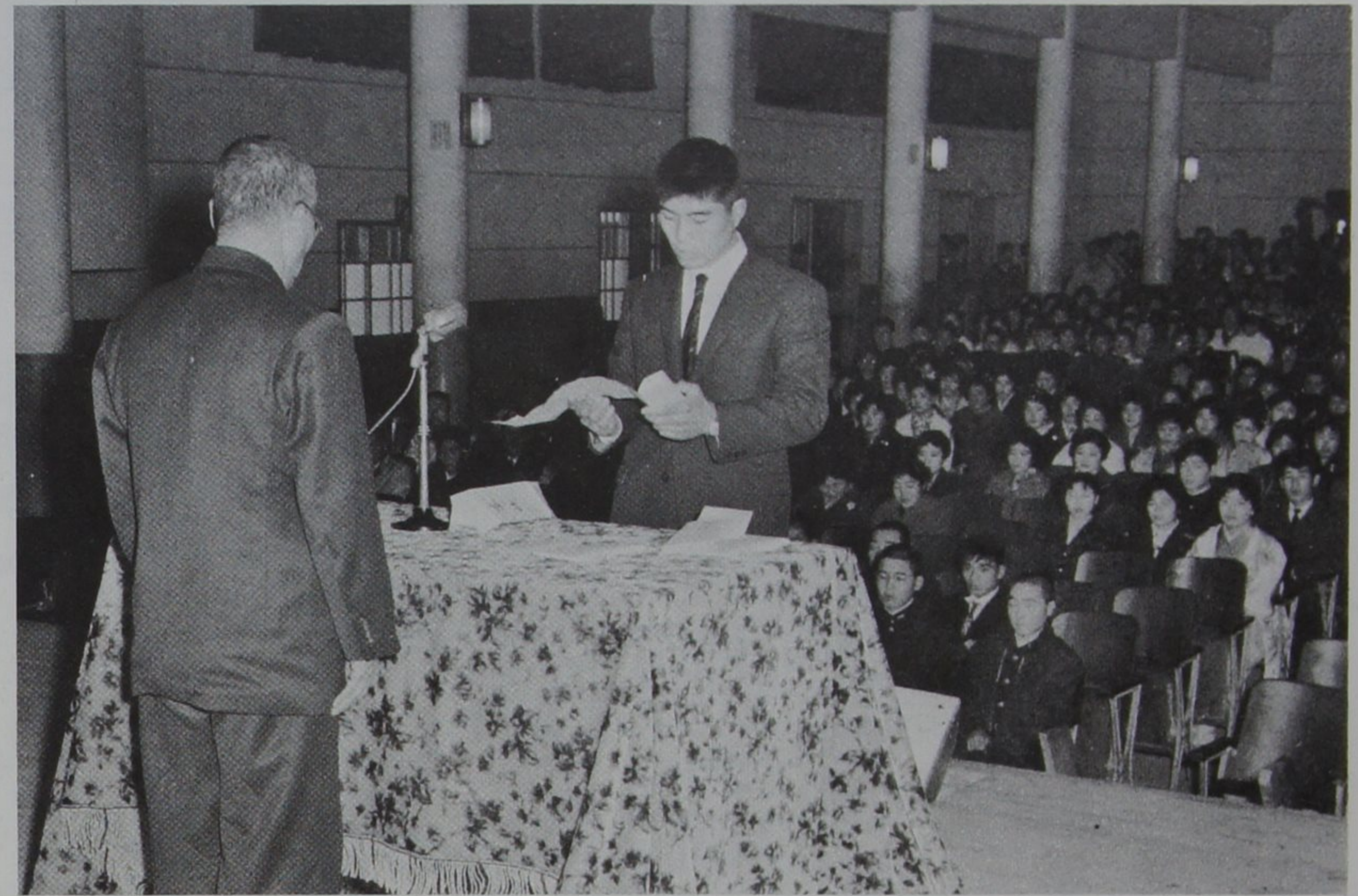
秋

冬



金谷天満宮の大名行列

秋の大祭に奉納されるこの大名行列は、享保5年（1720年）藩主毛利吉元が社殿を修復したときに始められたと伝えられるが、いまなお、その伝統をよくとどめている。



成人式



花之江茶亭

かつて藩主敬親が茶事に托して家臣らと時勢を論じ、国事を画策したという。指月公園内にある。

茶の湯（花之江茶亭にて）

萩市内の旅館

名称	電話番号	所在地	収容状況		宿泊料金	備考
			室数	人数		
常一松	150~152 123 1935 459	萩市唐樋町 " " " 土原三区	17 16 21	60 50 50	1,100~2,000 800~1,500 800~1,500	広間100畳 舞台あり
竹荘(本)	1070	" "	10	22	600~1,200	
中菜福吉小高好な岩福山山つるの長赤重阿原斉小や田猪山見双新藤市西若葉鶴亀白玉一藤福亀萩	1992 303 1600~1602 624 1914 960 511 930 868 1649 741 728 804 1029 1408 450 1918 531 1615 554 1117 1195 1556 301 呼 111 1364 1618 996 1423 1524 1054 1015 1126 315 603 351 668 223	" 古萩町 " 越ヶ浜 " 東萩駅前 " 上五間町 " " " 東田町 " 唐樋町 " " " 今古萩町 " 東田町 " 熊谷町 " 土原三区 " 江向 " 唐樋町 " 上五間町 " 橋本町 " 御許町 " 唐樋町 " 新川町 " 新川南区 " 東田町 " 新川西区 " 濁淵 " 浜崎町 " " " 濁淵 " 今古萩町 " 樽屋町 " 樽屋町 " 浜崎町 " " " 堀内 " 新川町 " 土原三区 " 吉田町 " 新川西区 " 東浜崎町 " " " "	23 30 17 8 10 8 11 9 9 18 6 8 9 5 4 6 6 7 13 9 8 5 5 2 10 5 6 6 5 7 5 6 7 6 6 10	60 150 50 20 20 15 20 29 25 10 30 30 15 35 10 10 12 12 20 40 20 15 10 10 10 10 15 15 12 12 12 12 12 20	650~1,200 700~1,500 650~1,200 600~700 600 600~700 600 700~1,000 700 600 600 600~700 700 600~1,000 800 450~500 400 550 550~750 550 550 600 300 300 300 330 300 350 300 250 250 450~500 800 700 600~800 550 350~500 300 600	"60畳.ボート.釣り池

萩旅館組合調べ

市内官公署一覽

市 関 係			名 称			所在地	電話
名 称	所在地	電話					
萩市役所	江向433	700	" 相島 "			相島船津9	1660
市役所見島支所	見島	見島 1	" 見島 "			見島薬師畑	見島 7
" 三見出張所	三見石丸	三見 1	高等学校	山口県立萩高等学校	堀内132	76・1346	
" 大井 "	大井庄屋	大井 1	" 萩商工高等学校		江向475	232・1443	
" 大島 "	大島	大島 4	" 萩光塩女子学院		東田町15	782・255	
" 浜崎駐在員	浜崎137	231	県 関 係				
" 越ヶ浜駐在員	椿東6455	219	山口県阿武教育事務所		土原660	590	
萩市清掃事務所	堀内7108	1891	" 萩県税事務所		"	591・593	
萩市立病院	堀内355	1200	" 長北社会福祉事務所		"	592・675	
萩市営林事業所	無田ヶ原2969	1239	" 萩港務所		後小畑5607	436	
" 製氷所	浜崎137	147	" 萩水産事務所		土原606	594・2187	
" 柑橘試験場	堀内131	1067	" 萩児童相談所		江向517	1150	
" 社会館	土原534	69	" 萩土地改良事務所		新川3073	774・341	
" 救護所	椿東椎原1448	1366	" 萩土木出張所		御許町33	45・43	
" 指月園	堀内493	899	" 萩林業事務所		土原606	1948・5E0	
" 母子寮	堀内483	2211	" 萩農業改良普及所		江向4の1	158	
萩市立土原保育園	土原561	517	" 阿西地区病虫害防除所		"	158	
" 越ヶ浜 "	越ヶ浜6186	1249	" 萩家畜保健衛生所		大井	大井 10	
" 新川 "	新川	1801	" 木炭検査所萩支所		土原606	580	
" 玉江 "	玉江浦4841	1256	" 萩保健所		江向440	663	
" 椿 "	椿2794	270	" 萩図書館		" 517	40	
" 三見 "	三見3099	三見 36	中 央 出 先 機 関				
" 白水 "	玉江二区	2115	裁判所関係				
萩市中央公民館	江向517	418	山口地方裁判所萩支部		江向469	47	
" 郷土博物館	江向	510	萩簡易裁判所		"	47	
" 松陰遺墨展示館	椿東	1800	山口家庭裁判所萩支部		"	1464	
" 農業委員会	江向4	1665	法務省関係				
" 教育委員会	江向	700	山口刑務所萩拘留支所		土原91	869	
" 労働会館	江向532	1234	山口地方検察庁萩支部		江向469	430	
" 観光協会	唐樋1	1750	山口地方検察庁萩支局		江向552	478	
萩警察署	土原	495	大蔵省関係				
大井巡査駐在所	大井	大井 601	門司税関下関税関支署萩出張所		椿東新川	832	
見島 "	見島	見島 6	萩税務署		唐樋町31	9C0	
萩市消防署	江向431	890	農林省関係				
見島漁港修築事務所	見島	見島 12	農林省山口食糧事務所阿武支所		江向4	956	
萩 駅	濁淵	289	" 萩出張所		"	955	
東 萩 "	新川南	271	" 山口統計調査事務所萩出張所		土原216	679	
玉 江 "	王江	1100	厚生省関係				
萩 市 "	唐樋町20	612	萩社会保険出張所		江向350	19E0	
長 門 大 井 "	大井	大井 609	労働省関係				
三 見 "	三見	三見 44	萩公共職業安定所		江向344	714・715	
学 校 関 係			萩労働基準監督署		土原536	568・750	
小学校	萩市立明倫小学校	江向506	運輸省、海上保安庁関係				
" 白水 "	山田4522	166・1526	中国海運局徳山支局萩出張所		新川846	233	
" 椿東 "	椿東	393	萩海上保安署		後小畑	831	
" 椿西 "	椿2390	135	萩測候所		堀内392	731	
" 三見 "	三見石丸	686	郵政省関係				
" 大井 "	大井	三見 12	萩郵便局		東田町28	681	
" 越ヶ浜 "	椿東6088	大井 16	日本電信電話公社				
" 木間 "	山田857	621	萩電報電話局		土原575	4E0・550	
" 大島 "	大島寺山	174	萩無線送信所		今魚店24	981	
" 相島 "	相島船津9	大島 7	下関無線送信所				
" 見島 "	見島薬師畑	1606	見島事業所		見島	見島 16	
中学校	萩市立萩第一中学校	見島 9	日本専売公社				
" 明 経 "	土原556	721	日本専売公社萩出張所		土原383	611・1040	
" 指 月 "	土原526	944	◎ お み や げ				
萩市立越ヶ浜中学校	堀内261	669	萩焼陶器、小萩人形、夏みかん菓子、かまぼこ、				
" 木 間 "	後小畑	723	木彫人形、夏みかん、うに、マーマレード				
" 三 見 "	山田857	174					
" 大 井 "	三見石丸	三見 11					
" 大 島 "	大井	大井 17					
	大島寺山	大島 6					

あ　と　が　き

本書は「観光都市萩市」の姿を眼で理解していただく目的で編集しました。

ために、資料、就中統計的説明が不足勝ちとなり、その点では、在来の市勢要覧とはいささか趣を異にしていますが、いくらかでも親しみやすい感じをもっていただければ幸いに存じます。

編集にあたって、資料、写真をいただき助言を賜った方々に厚く御礼申し上げます。

萩市勢要覧 1962年版

昭和37年6月25日印刷

昭和37年7月1日発行

発行 萩市役所

編集 萩市役所企画統計課

印刷 瞬報社写真印刷株式会社

M E M O

M E M O

.....

80p
260m

未
行
參
照
原
書

H2
J2